

令和7年度岡山県認知症対策連携会議 資料

1 岡山県の認知症施策について

施策一覧	1
(1) 普及啓発・本人発信支援	2
(2) 予防	3
(3) 医療・ケア・介護サービス	4
(4) 地域で支える体制の整備	8

参考資料

令和6年度岡山県認知症疾患医療センター(8センター)の活動実績	12
令和6年度おかやま認知症コールセンター実績報告	13
おかやま若年性認知症支援センター実績報告	15
市町村別認知症施策の取組状況について	18
第9期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画目標	19

2 各団体の取組等について

取組一覧	20
------	----

参照資料

岡山県医師会	23
岡山県歯科医師会	34
岡山県看護協会	37
岡山県薬剤師会	38
岡山県介護福祉士会	44
岡山県老人福祉施設協議会	45
岡山県老人保健施設協会	47
岡山県県民生活部くらし安全安心課	53

3 岡山県認知症施策推進計画(仮称)について・・・〔別冊〕

岡山県の認知症施策について

1 普及啓発・本人発信支援

- (1) 認知症サポーター等の養成
- (2) 認知症に関する理解促進
 - ・認知症の日（毎年9月21日）及び認知症月間（毎年9月）（世界アルツハイマーデー及び月間）における認知症の普及啓発
 - ・VRシステムによる認知症の普及啓発
- (3) 認知症の本人からの発信支援
 - ・本人ミーティングの普及等の推進

2 予防

- (1) 通いの場の普及促進
- (2) 通所付添サポート事業の実施
 - ・アウトリーチの実施、通所付添サポーターの養成、介護予防先導モデルへの補助

3 医療・ケア・介護サービス

- (1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備
 - ・認知症疾患医療センターの設置
- (2) 認知症サポート医の養成等
 - ・認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修の実施
- (3) 医師等の認知症対応力の向上
 - ・医療従事者（かかりつけ医、歯科医師、薬剤師、看護職員等）を対象とした認知症対応力向上研修の実施
- (4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成
 - ・介護従事者を対象とした認知症介護の知識・技術の習得、質の向上を図る研修の実施

4 地域で支える体制の整備

- (1) 認知症の人とその家族への支援
 - ・「おかやま認知症コールセンター」の設置
 - ・介護家族等の交流会の開催
- (2) 若年性認知症の人への支援
 - ・「おかやま若年性認知症支援センター」の設置
 - ・若年性認知症の人と家族の集いの開催
- (3) 市町村の取組の支援
 - ・認知症初期集中支援チーム員や認知症地域支援推進員を対象とした研修の受講支援
 - ・認知症の人やその家族のニーズと支援者をつなぐ「チームオレンジ」の整備支援
- (4) 成年後見制度の利用促進
 - ・市民後見人の養成及びフォローアップ研修の実施
 - ・成年後見制度を利用できる体制整備に向けた普及啓発
- (5) 行方不明の認知症高齢者への対応
 - ・市町村内や県内外における広域見守りネットワークづくりの推進

1 普及啓発・本人発信支援

<R7年度当初予算額 12,843千円>

(1) 認知症サポーター等の養成

市町村における認知症サポーターの養成を支援するため、認知症サポーター養成講座で講師を務めるキャラバン・メイトを養成する。

また、市町村と協働して、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。

【岡山県全体の養成数（各年度末時点の累計養成数）】

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
キャラバン・メイト数	3,249人	3,367人	3,513人	3,611人
認知症サポーター数	224,978人	239,789人	255,285人	265,015人

※R7年度は12月末時点

(2) 認知症に関する理解促進

ア 認知症の日（毎年9月21日）及び認知症月間（毎年9月）（世界アルツハイマーデー及び月間）における認知症の普及啓発

令和7年度の取組

（県）テレビ、ラジオ、ポスター・パネル展示、県庁舎ピロティライトアップ、路面電車中吊り広告、商業施設のインフォメーションパネルでの広報等
（市町村）講演会、研修会、個別相談会、映画上映会、出張認知症カフェ、パネル展示、オレンジライトアップ（岡山城、津山城、備中国分寺、嵐山公園ほか）等

イ VRシステムによる認知症の普及啓発

医療・介護サービス施設等の職員、介護家族、市町村及び地域包括支援センター職員等を対象に、VR（仮想現実）機材を活用し、座学だけではなかなか実感がわかない認知症の中核症状等を疑似体験することを通じて、認知症に対する正しい理解を深め、認知症の方や介護家族等への適切な対応方法をグループワークで考える出前研修会を実施する。

研修受講者数（H30～R7年度の累計） 2,651人

※R7年度は12月末時点

令和7年度に新たに実施した事業

- 県広報紙「晴れの国おかやま」を活用した広報（12月号 特集記事）
- 啓発用パネルの作成（認知症に関する正しい知識・理解を深めるため、各種イベントで使用可能なパネルを作成（子ども用・大人用の2種類））
- 県職員向け研修（映画「オレンジ・ランプ」上映及び講演）

(3) 認知症の人本人からの発信支援

ア 本人ミーティングの普及等の推進

県下の認知症当事者が集い、当事者同士が主となって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う機会を設ける「本人ミーティング」の普及のため、市町村へのアドバイス等を実施する。（委託先：認知症の人と家族の会岡山県支部）

2 予防

<R7 年度当初予算額 14,897 千円>

(1) 通いの場の普及促進

介護予防に有効とされる週 1 回以上、住民運営で体操や趣味活動などを行う通いの場を普及促進するため、県内先進事例の横展開や住民運営のノウハウ提供、情報誌の作成を行うとともに、通いの場参加者やボランティアを対象としたフォーラムを開催し、広く県民に通いの場の魅力を発信する。さらに、市町村に対しては、専門家等を活用し、通いの場の介護予防効果測定や、地域の実情に応じた通いの場の立ち上げを支援する。

【通いの場の箇所数】

※毎年度 4 月 1 日時点

年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
箇所数	1,362箇所	1,392箇所	1,426箇所	1,464箇所

(2) 通所付添サポート事業の実施

ア アウトリーチの実施

県庁に配置している市町村支援員や、アドバイザー派遣による、通所付添サポートの立ち上げ支援

イ 通所付添サポーターの養成

自力で通いの場等への参加が困難な高齢者の誘い出しや、付添を行う元気な世代の高齢者等を対象に、安心して活動するために必要な基本的知識・技術を学ぶ講習を開催

ウ 介護予防先導モデルへの補助

市町村が実施する住民互助による通所付添活動の立ち上げ支援に要する経費を補助(補助率 10/10 上限 50 万円)

【通所付添サポート事業の実施市町村及び通所付添サポーター養成者数】

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
市町村名	吉備中央町								
		備前市							
		矢掛町							
		奈義町							
		赤磐市							
		早島町							
		里庄町							
		新庄村							
		西粟倉村							
			高梁市						
養成者数	42人	65人	167人	70人	48人	128人	57人	30人	47人

R 7 年度は 1 月末時点

3 医療・ケア・介護サービス

<R7年度当初予算額 47,945千円>

(1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備

ア 岡山県認知症疾患医療センターの設置

地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要な医療を提供できる機能体制の構築を図るため、認知症に係る地域連携の拠点となる認知症疾患医療センターとして、8病院を指定している。

(ア) 指定状況

※人口はR6.10.1現在の「毎月流動人口」

二次保健医療圏	65歳以上人口(人)	高齢化率	病院名(所在地)	指定期間 ()は当初指定日
県南東部	257,674	29.6%	岡山大学病院(岡山市北区)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			慈圭病院(岡山市南区)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			岡山赤十字病院(岡山市北区) ※岡山市が指定	—
県南西部	198,692	31.1%	川崎医科大学附属病院(倉敷市)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			倉敷平成病院(倉敷市)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			きのこエスポール病院(笠岡市)	R6.4.1~R9.3.31 (H27.8.1)
高梁・新見	22,423	44.2%	さきがけホスピタル(高梁市)	R6.4.1~R9.3.31 (H25.10.22)
真庭	16,755	41.9%	向陽台病院(真庭市)	R5.4.1~R8.3.31 (H29.8.1)
津山・英田	57,998	35.9%	積善病院(津山市)	R5.4.1~R8.3.31 (H26.11.19)
合計	553,542	31.4%		

(イ) 指定病院の役割

- a 専門的医療機能
 - (a) 鑑別診断とそれに基づく初期対応
 - (b) 認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応
 - (c) 専門医療相談
- b 地域連携拠点機能
 - (a) 認知症疾患医療センター地域連携会議の設置及び運営
 - (b) 研修会の開催
- c 診断後等支援機能
 - (a) 診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援
 - (b) 当事者等によるピア活動や交流会の開催
- d アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬に係る治療・相談支援等機能
- e 事業の着実な実施に向けた取組の推進

※センター間の連携体制の確立や医療・介護・福祉間の連携推進などについて検討する認知症疾患医療センター連絡会議を毎年度開催している。また、令和5年度から、職員向け研修を開催している。

令和7年度に新たに実施した事業

○アルツハイマー病抗アミロイドβ抗体薬の投与情報について県ホームページへ掲載

(2) 認知症サポート医の養成等

ア 認知症サポート医の養成

認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医に対する助言等の支援を行い、専門医療機関や市町村地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

(ア) 委託先

- a 受講者選定・派遣 岡山県医師会
- b 研修実施主体 国立長寿医療研究センター

(イ) 養成者数（自費参加者を含む）

研修名	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症サポート医養成研修 修了者数	14人	14人	12人	20人

R7年度は修了予定者数

イ 認知症サポート医フォローアップ研修

認知症サポート医等に対し、認知症の診断・治療・ケア等に関する研修、症例検討等を通じて、地域における認知症の人への支援体制の充実や、地域における認知症サポート医の連携・強化を図るための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症サポート医 フォローアップ研修	開催回数	1回	1回	1回	1回
	修了者数	69人	59人	51人	44人

(3) 医師等の認知症対応力の向上

ア かかりつけ医認知症対応力向上研修

高齢者が日頃から受診する診療所等の主治医（かかりつけ医）に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人本人とその家族を支える知識と方法を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
かかりつけ医 認知症対応力向上研修	開催回数	2回	2回	2回	2回
	修了者数	19人	29人	28人	25人

イ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

病院に勤務する医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修	開催回数	4回	4回	4回	4回
	修了者数	158人	184人	123人	167人

ウ 歯科医師認知症対応力向上研修

高齢者が受診する歯科医師に対し、認知症の人本人と家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県歯科医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
歯科医師認知症対応力向上研修	開催回数	1回	1回	1回	1回
	修了者数	137人	177人	152人	未定

R 7年度は2月に実施予定

エ 薬剤師認知症対応力向上研修

高齢者が受診した際や受診後等に接する薬局・薬剤師に対し、認知症の人本人とその家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県薬剤師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
薬剤師認知症対応力向上研修	開催回数	2回	1回	1回	1回
	修了者数	268人	307人	241人	319人

オ 看護職員認知症対応力向上研修

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県看護協会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
看護職員認知症対応力向上研修	開催回数	2回	2回	2回	2回
	修了者数	34人	61人	70人	74人

※前年度からの繰り越し者を含む修了証書を交付した者のうち1名は他県(R 5)

(4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成

ア 認知症介護基礎研修

新任の介護職員等に対し、認知症介護に関する基礎的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 実施方法 県が指定する法人（社会福祉法人東北福祉会認知症介護研究・研修仙台センター）が実施する。R 5年度からはeラーニングによる。

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症介護基礎研修	開催回数	1回	—	—	—
	修了者数	852人	1,458人	766人	501人

R 7年度は12月末時点

イ 認知症介護実践研修

高齢者介護実務者に対し、認知症介護に関する実践的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 実施方法 県が指定する法人が実施

- a 実践者研修 …岡山県社会福祉協議会、岡山市ふれあい公社
岡山県老人保健施設協会
- b リーダー研修 …岡山県老人保健施設協会、岡山市ふれあい公社

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症介護実践者研修	開催回数	8回	8回	8回	7回
	修了者数	293人	338人	364人	299人
認知症介護 実践リーダー研修	開催回数	2回	2回	2回	3回
	修了者数	56人	61人	74人	90人

※修了者数には前年度からの延期分を含む。

ウ 認知症対応型サービス事業管理者等養成研修

認知症高齢者グループホームの管理者や開設者、小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者等に対して、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県社会福祉協議会

- (イ) 定員
 - a 開設者研修 20人×1回
 - b 管理者研修 40人×1回、50人×2回
 - c 計画作成担当者研修 40人×1回

(ウ) 修了者数

研修名	開催回数	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症対応型サービス事業 開設者研修修了者数	年1回	10人	12人	12人	9人
認知症対応型サービス事業 管理者研修修了者数	年3回	72人	67人	64人	56人
小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修修了者数	年1回	25人	26人	40人	28人

エ 認知症介護指導者養成研修

認知症介護に関する専門的な知識・技術を有し、認知症介護研修を企画・立案し、講義、演習、実習を担当することができ、また、介護保険施設・事業者等における介護の質の改善について指導できる認知症介護指導者を養成する。また、そのフォローアップ研修を実施する。

研修名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症介護指導者養成研修修了者数	2人	0人	0人	4人
認知症介護指導者 フォローアップ研修修了者数	0人	1人	1人	1人

4 地域で支える体制の整備

<R7年度当初予算額 47,136千円>

(1) 認知症の人とその家族への支援

ア おかやま認知症コールセンターの設置

認知症の人やその家族が悩みやストレスを抱え込んでしまうことがないように、岡山市と共同で社会福祉士や介護支援専門員等の専門職が対応する「おかやま認知症コールセンター」を設置している。

(ア) 電話番号等 086-801-4165 (晴れて一番 よい老後)
月曜日～金曜日 10:00～16:00

(イ) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(ウ) 相談件数

年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
相談件数(延)	607件	626件	544件	519件

R 7年度は12月末時点

イ 認知症高齢者・家族交流会の開催

認知症サポート医等の認知症理解についての講演、介護の体験談の発表、グループワーク等を通じて、介護経験者と介護に不安を持つ介護家族及び認知症高齢者本人等の交流会を実施する。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) R 7年度実績 各県民局管内1回実施

(2) 若年性認知症の人への支援

ア おかやま若年性認知症支援センターの設置

若年性認知症の人とその家族等を対象とした相談窓口として設置。若年性認知症支援コーディネーター(※)5名で対応。

※新オレンジプランにおいて、各都道府県に配置することとされている若年性認知症の人の自立支援に関わる関係者のネットワークの調整役。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) 主な業務

a 電話相談・面談・訪問

(a) 電話番号 086-436-7830

(b) 相談日・時間 月曜日～金曜日 10:00～16:00

(c) 相談体制等 コーディネーター(保健師、社会福祉士等の専門職)が、電話相談に対応し、内容に応じて適宜面談等を実施。

(d) 相談内容 受診、治療、就労、社会参加、介護サービス等

b 個別ケア会議

c 医療、介護、福祉、就労等の総合的な支援に向けて関係団体等が参画するネットワーク会議の開催

d 市町村・地域包括支援センター職員等への研修会等の普及活動

(ウ) 活動報告

a 電話相談集計報告

年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
相談件数(延)	284件	285件	409件	349件

R 7年度は12月末時点

b R 7年度普及活動

関係機関の訪問や、研修講師等（病院、大学・専門学校等）

イ 若年性認知症の人と家族の集いの開催

若年性認知症の人やその家族が集い、共同作業、レクリエーション、情報・意見交換等を行う「ひまわりの会」を開催する。（年6回程度開催）。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) R 7年度実績 計5回実施 本人・家族等150人参加（延）（12月末時点）

(3) 市町村の取組の支援

ア 認知症初期集中支援チーム員研修事業

認知症初期集中支援チームのチーム員等がその活動に必要な知識・技能を身に付けるため、国立長寿医療研究センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における支援チームの配置を推進するとともに、支援チームの質の確保・向上を図る。

研修名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症初期集中支援チーム員研修修了者数	30人	33人	28人	35人

イ 認知症地域支援推進員研修事業

認知症地域支援推進員等がその活動に必要な知識・技術を身に付けるため、認知症介護研究・研修東京センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における推進員の配置を推進するとともに、推進員の質の確保・向上を図る。

研修名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症地域支援推進員研修修了者数	43人	54人	54人	57人

ウ チームオレンジ研修事業

認知症の人やその家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みとして、チームオレンジの整備に取り組む市町村を支援するため、市町村職員やコーディネーター等に対し、活動に必要な知識や技術を伝達するとともに、先進自治体の取組事例を紹介することにより、活動の推進を図る。

研修名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
チームオレンジ研修受講者	74人	88人	65人	未定

R 7年度は3月実施予定

エ 認知症ケアに係る医療連携体制整備事業

認知症ケアパスや認知症地域連携パス等の作成やその運用体制の構築に係る経費、認知症ケアパス等を周知・普及させるための研修会の実施に係る経費を補助する。

- (ア) 実施主体 市町村、郡市等医師会、認知症疾患医療センター
- (イ) R7年度実施団体 1団体（新見医師会）

オ 市町村認知症事業連絡会の開催

認知症の人やその家族を地域で支える体制づくりを推進するため、県内市町村の取組事例の伝達や意見交換など、市町村や地域包括支援センターの職員等を対象とした研修会を開催する。

- (ア) 対象 市町村や地域包括支援センターの職員等
- (イ) 開催回数 各県民局 年1回（計3回）
- (ウ) 内容 認知症施策推進計画策定について、認知症当事者や家族への関わり方について等

カ 岡山県認知症対策連携会議の設置

行政と医療・介護・福祉等の関係者が連携し、県内における総合的な認知症対策を円滑に推進するための検討を行う組織として設置する。

(4) 成年後見制度の利用促進

認知症高齢者の増加などにより、成年後見制度の利用が必要となる人の増加が見込まれる中、成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう、必要な施策を実施する。

ア 市民後見人養成講座（基礎研修）の実施（日程：7日間）

市民後見人養成講座を県南・県北会場の2会場で実施する。

- (ア) 委託先 県南会場（岡山市） 東京リーガルマインド
県北会場（津山市） 津山市社会福祉協議会
- (イ) R7年度実績 修了者数 55名

イ 市民後見推進に係る市町村支援

市町村が実施する市民後見人養成応用研修、フォローアップ研修等を支援する。

- (ア) R7年度実績 15市町村予定

ウ 市町村・中核機関職員を対象とした成年後見制度利用促進研修会

市町村や中核機関の職員が、県内どの地域においても成年後見制度の必要な者が制度利用できる等地域体制の構築を図るため必要な知識及び技術等を習得することを目的とした研修会を実施する。

- (ア) 実施方法 直営・委託（岡山県社会福祉協議会）
- (イ) 対象 市町村職員、市町村社会福祉協議会職員等
- (ウ) R7年度実績 3回 実施

エ 市町村連絡会議

市町村における成年後見制度の利用促進の取組状況等について情報共有を図り、市町村の取組の推進に寄与するため連絡会議を開催する。

- (ア) R7年度実績 1回開催

オ 法的相談窓口設置

市町村からの高齢者虐待防止、高齢者の権利擁護に関する相談に対し、受付窓口を設置するとともに弁護士の援助を行う。

(5) 行方不明の認知症高齢者への対応

ア 広域ネットワークの運営

徘徊等により行方不明となった認知症高齢者の早期発見・保護等を行うため、市町村で運営されている徘徊・見守りネットワーク等の効率的な連携を図るために運営。

※ネットワークの利用状況 (R6. 6. 1～R7. 5. 31)

- ・行方不明発生通報件数 28件
- ・うち広域ネットワークへの検索依頼件数 3件

イ 協力事業者の登録

認知症高齢者の行方不明時の捜索等に協力してもらえる県内の広域交通関係事業者等を登録し、市町村に提供。

※協力事業所 27事業所 (R8. 2. 1 現在)

令和6年度 岡山県認知症疾患医療センター(8センター)の活動実績

(1)専門医療相談

(単位:件)

方法	件数
電話	3,515
面接	556
訪問	76
その他	98
合計	4,245

(2)専門医療相談(相談元)((1)の内訳)(単位:件)

相談元	件数
本人から	370
家族等介護者から	2,016
地域包括支援センターから	472
医療機関(かかりつけ医等)から	517
介護事業所等から	651
行政機関から	71
院内他科から	56
合計	4,153

(3)受診の経緯

(単位:件)

紹介元	件数
地域包括支援センターから	315
医療機関(かかりつけ医等)から	1,431
介護事業所等から	270
行政機関から	97
その他	10
合計	2,123

(4)受診後の情報提供

(単位:件)

情報提供先	件数
地域包括支援センターへ	91
医療機関(かかりつけ医等)へ	1,831
介護事業所等へ	225
行政機関へ	47
その他	11
合計	2,205

(5)鑑別診断件数

(単位:件)

鑑別診断結果	実数	構成比
① 正常または健常	150	—
② 軽度認知障害(MCI)	619	—
認知症	アルツハイマー型認知症	1,103 69.8%
	血管性認知症	125 7.9%
	レビー小体型認知症	150 9.5%
	前頭側頭型認知症	14 0.9%
	その他の認知症	188 11.9%
③ 認知症小計	1,580	
④ その他	362	—
合計(①～④)	2,711	

※上記のうち、65歳未満認知症患者実数: 22

(6)その他

(単位:センター)

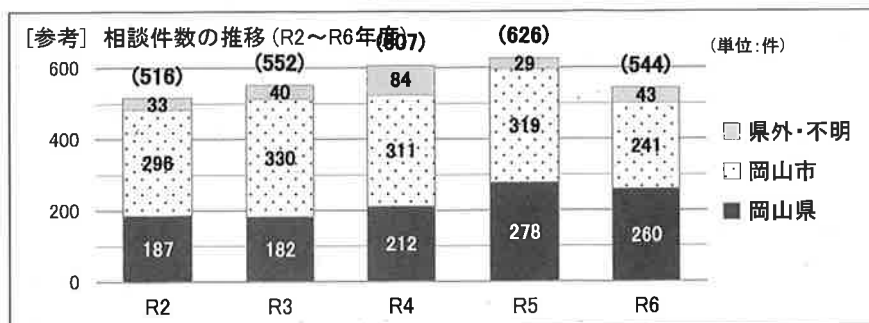
内容	実施数
認知症疾患医療連携協議会の開催	8
研修会の開催(重複あり)	
・ 医療従事者対象	7
・ 地域包括職員等対象	7
・ 家族・地域住民等対象	6
地域への認知症医療に関する情報発信	7
地域への認知症に関する理解を促す普及啓発	7
他の主体の実施する研修会への協力・講師派遣	8
初期集中支援チームへの関与	
・ チーム設置	—
・ チーム員として参加	5
・ 後方支援	5

※チーム員及び後方支援: 3

おかやま認知症コールセンター実績報告（令和6年度）

1 相談件数

	相談件数
岡山県	260
岡山市	241
県外・不明	43
計	544



2 相談時間

	1分～30分	31分～60分	61分～
岡山県	234	22	4
岡山市	201	38	2
県外・不明	37	5	1
計	472	65	7

3 相談者・相談内容

(1) 相談者

	(単位: 件)					(再掲)
	配偶者	子 (子の配偶者)	兄弟	本人	その他	(うち若年)
岡山県	22	229	1	4	4	5
岡山市	46	156	5	12	22	3
県外・不明	0	41	0	0	2	0
計	68	426	6	16	28	8

(2) 要介護者の居住状況

	(単位: 件)			
	単身世帯	家族と同居	施設	その他
岡山県	11	55	192	2
岡山市	41	144	50	6
県外・不明	7	14	22	0
計	59	213	264	8

(3) 相談内容

	(単位: 件)						
	症状・対応の方法	家族関係	介護保険	経済的問題	医療関係	苦情	その他
岡山県	235	8	6	4	5	0	2
岡山市	180	20	18	2	19	0	2
県外・不明	32	4	3	1	3	0	0
計	447	32	27	7	27	0	4

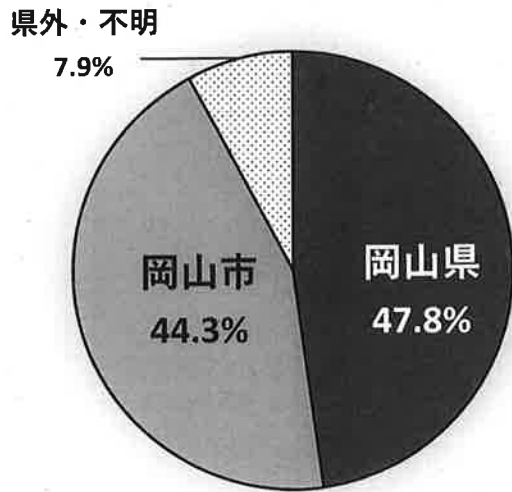
(4) 対応

	(単位: 件)				
	傾聴	助言	他機関紹介	来所相談	その他
岡山県	41	211	6	1	1
岡山市	10	217	10	4	0
県外・不明	3	40	0	0	0
計	54	468	16	5	1

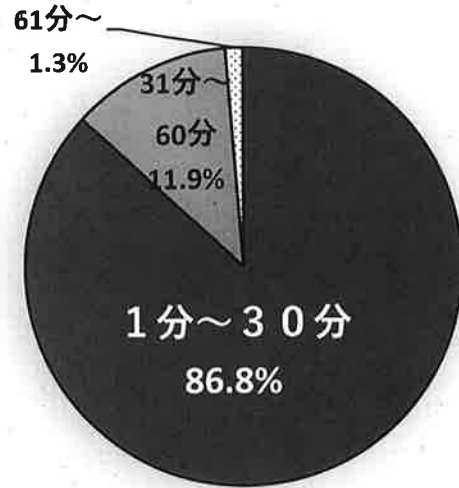
出典: おかやま認知症コールセンターの令和6年度実績報告書をもとに岡山県が作成。

おかやま認知症コールセンター実績報告（令和6年度）

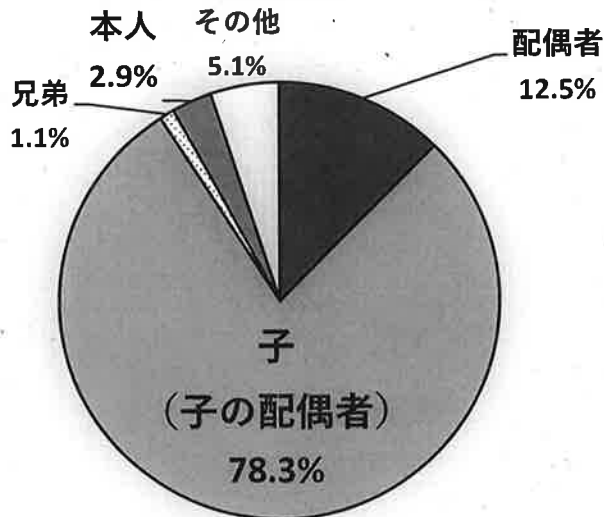
【相談件数】



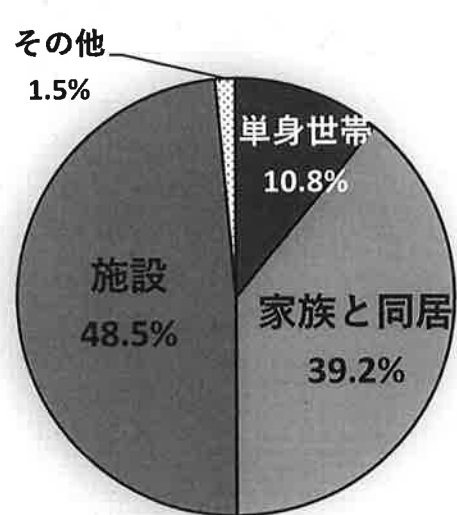
【相談時間】



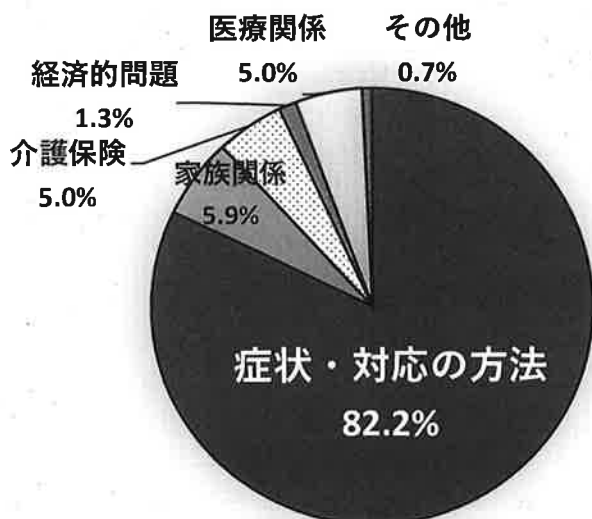
【相談者】



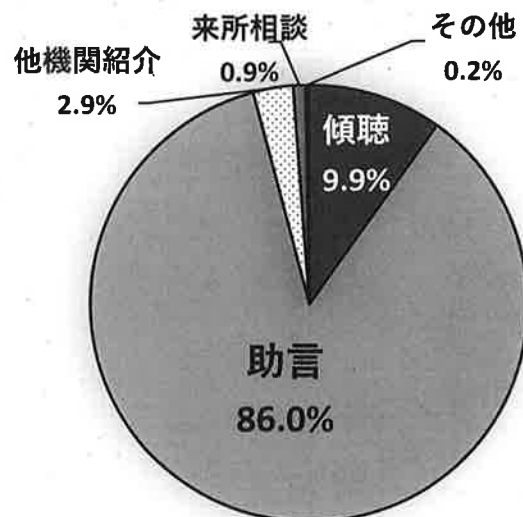
【要介護者の居住状況】



【相談内容】



【対応】



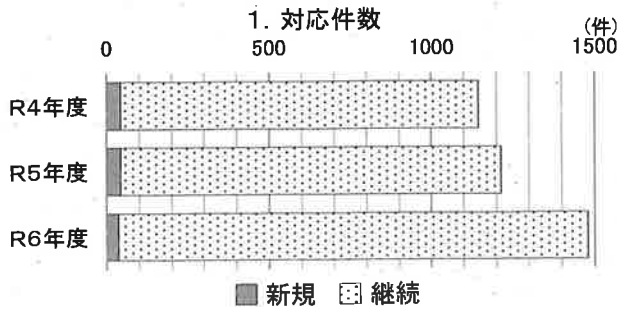
おかやま認知症コールセンターの令和6年度実績報告書をもとに岡山県が作成。百分率(%)で示した数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。

おかやま若年性認知症支援センター 若年性認知症支援コーディネーター対応件数(実績報告)

1. 対応件数

(単位:件)

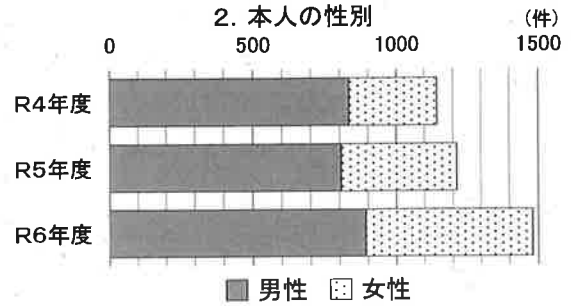
	新規	継続	合計	実人数
R4年度	43	1102	1145	83人
R5年度	43	1171	1214	93人
R6年度	36	1444	1480	86人



2. 本人の性別

(単位:件)

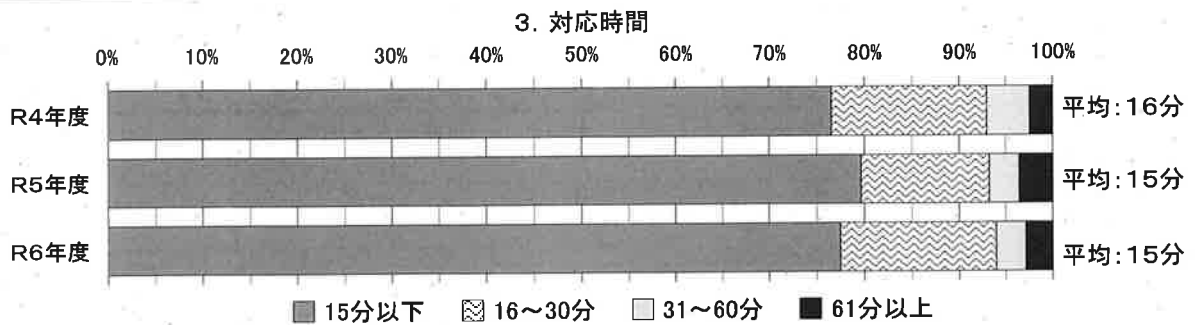
	男性	女性	合計
R4年度	835	310	1145
R5年度	806	408	1214
R6年度	892	588	1480



3. 対応時間

(単位:件)

	15分以下	16~30分	31~60分	61分以上	平均
R4年度	877	187	53	28	15分
R5年度	967	165	39	43	15分
R6年度	1147	244	47	42	15分

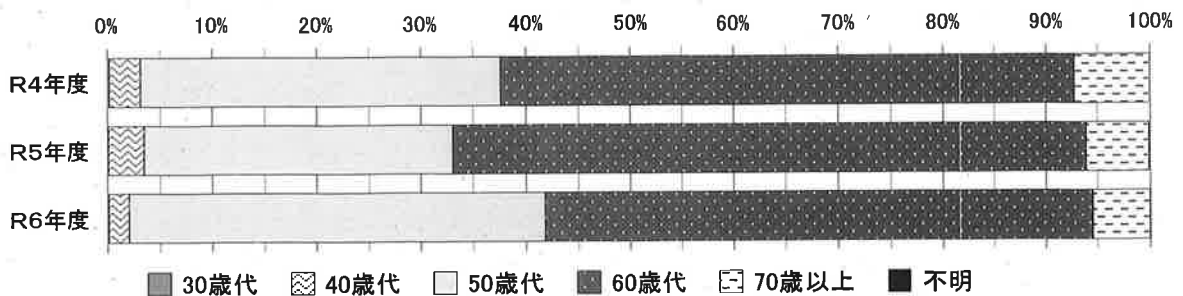


4. 本人の年齢(延数)

(単位:件)

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明
R4年度	2	34	395	631	82	1
R5年度	1	41	359	739	72	2
R6年度	2	28	589	781	80	0

4. 本人の年齢(延数)

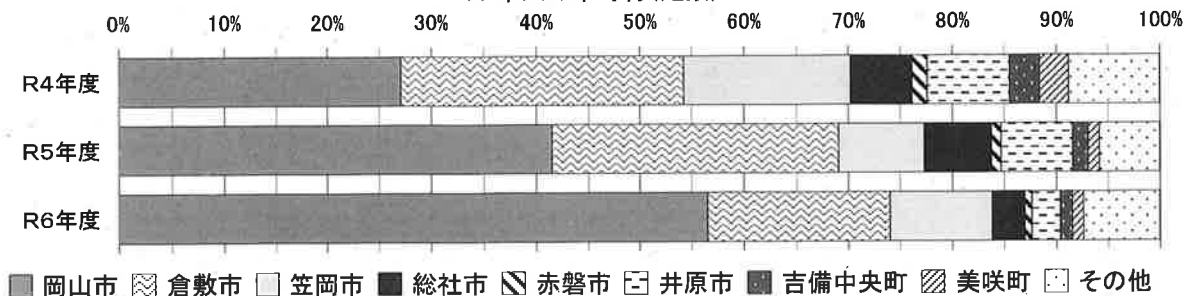


5. 本人の市町村(延数)

(単位:件)

	岡山市	倉敷市	笠岡市	総社市	赤磐市	井原市	吉備中央町	美咲町	その他
R4年度	310	311	183	68	17	90	33	32	101
R5年度	504	334	101	78	11	83	19	13	71
R6年度	836	258	146	46	10	40	17	16	110

5. 本人の市町村(延数)

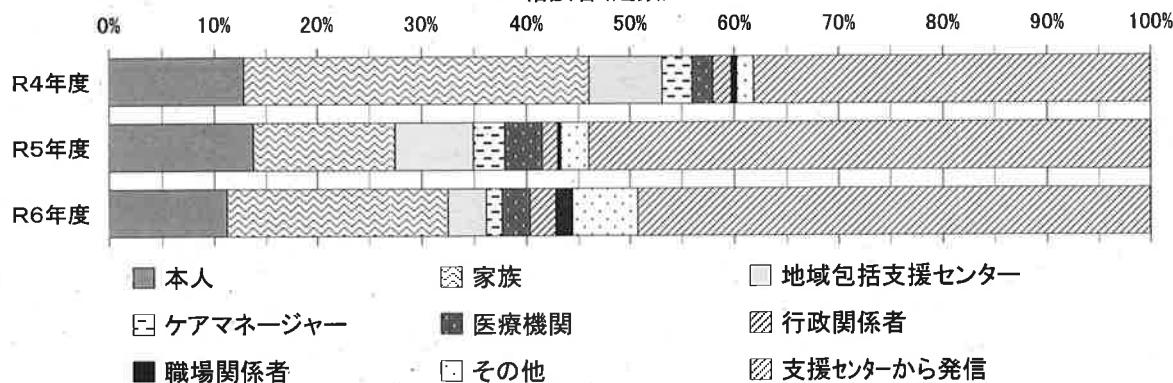


6. 相談者(延数)

(単位:件)

	本人	家族	地域包括支援センター	ケアマネージャー	医療機関	行政関係者	職場関係者	その他	支援センターから発信
R4年度	147	380	81	33	23	20	6	18	437
R5年度	146	146	79	32	38	16	3	29	574
R6年度	166	315	54	22	40	36	24	94	729

6. 相談者(延数)



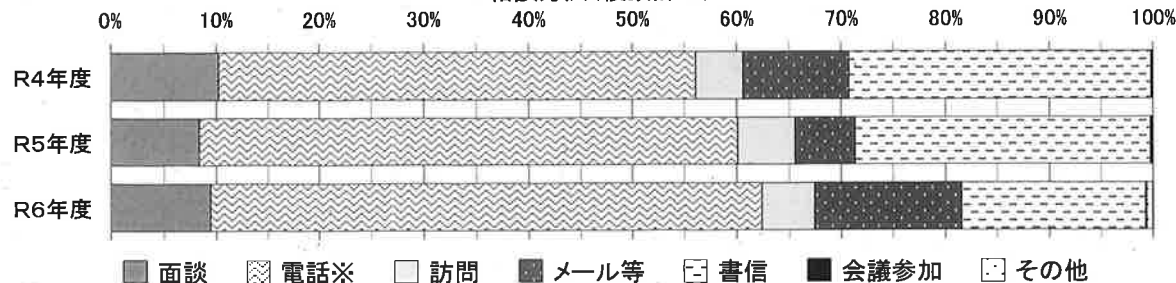
7. 相談方法(複数計上)

(単位:件)

	面談	電話※	訪問	メール等	書信	会議参加	その他
R4年度	118	529	52	117	335	2	0
R5年度	103	633	67	71	348	1	2
R6年度	143	800	77	213	268	2	9

※コールセンターへの電話含む

7. 相談方法(複数計上)

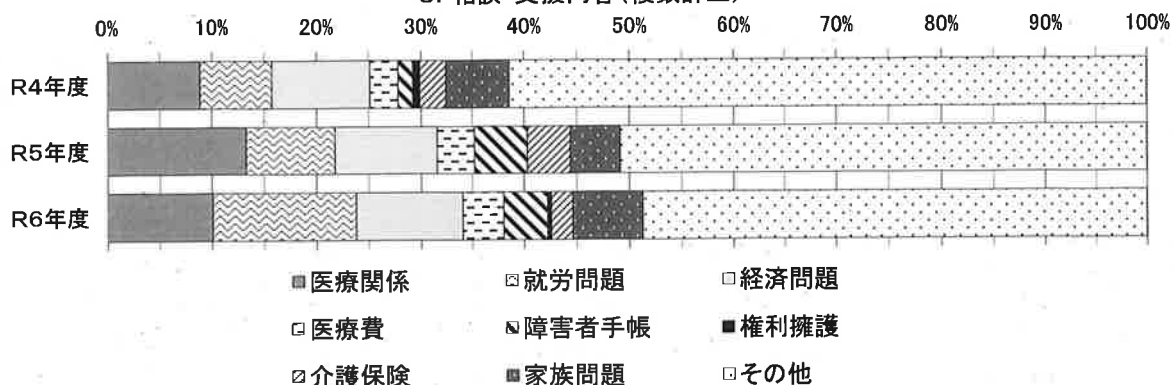


8 相談・支援内容(複数計上)

(単位:件)

	医療関係	就労問題	経済問題	医療費	障害者手帳	権利擁護	介護保険	家族問題	その他
R4年度	171	133	181	52	27	13	49	119	1185
R5年度	311	198	229	85	119	1	94	111	1189
R6年度	290	393	295	114	120	10	59	190	1399

8. 相談・支援内容(複数計上)

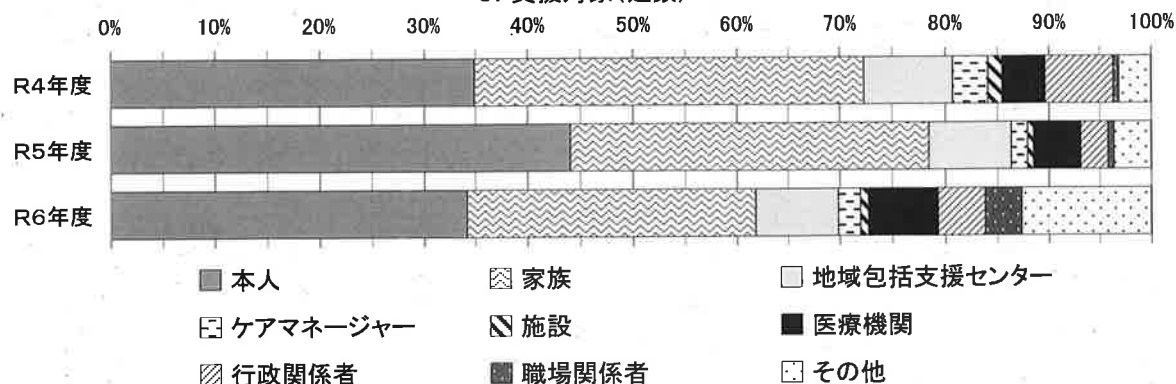


9 支援対象(複数計上)

(単位:件)

	本人	家族	地域包括支援センター	ケアマネジャー	施設	医療機関	行政関係者	職場関係者	その他
R4年度	434	466	104	42	17	52	83	7	39
R5年度	673	525	120	24	9	71	41	9	55
R6年度	546	442	128	34	12	105	72	56	203

9. 支援対象(延数)



出典: おかやま若年性認知症支援センターの2022~2024年度実績報告書をもとに岡山県が作成。

市町村別認知症施策の取組状況について

圏域	市町村	高齢化率	疾患医療センター (箇所)	初期集中支援チーム (チーム数)	地域支援推進員 (人)	認知症ケアパス	チームオレンジ (箇所)	認知症カフェ (箇所)	SOSネットワーク
県南東部	岡山市	27.2%	3	1	8	○	5	47	○
	玉野市	40.0%		1	8	○	4	6	○
	備前市	41.6%		1	6	○	1	7	○
	瀬戸内市	35.0%		1	7	○	1	7	○
	赤磐市	35.0%		1	3	○		6	○
	和気町	42.3%		1	4	○	2	1	○
	吉備中央町	43.7%		1	3	○	1	3	○
計	29.6%	3	7	39	7	14	77	7	
県南西部	倉敷市	29.3%	2	3	6	○	3	25	○
	笠岡市	40.1%	1		7	○		2	○
	井原市	38.6%		1	14	○	1	3	○
	総社市	29.0%		1	0	○	1	12	○
	浅口市	37.2%		1	2	○	1	5	○
	早島町	27.7%		1	3	○		2	○
	里庄町	32.4%		1	6	○	1	1	○
	矢掛町	40.1%		1	2	○	1	1	○
計	31.1%	3	9	40	8	8	51	8	
高梁・新見	高梁市	44.6%	1	1	8	○	4	8	○
	新見市	43.7%		3	6	○	1	4	○
計	44.2%	1	4	14	2	5	12	2	
真庭	真庭市	41.9%	1	1	12	○	1	8	○
	新庄村	46.0%			0				○
計	41.9%	1	1	12	1	1	8	2	
津山・英田	津山市	32.4%	1	1	36	○	1	5	○
	美作市	43.3%		1	3	○	1	4	○
	鏡野町	40.6%		1	3	○		2	○
	勝央町	33.3%		1	3			2	○
	奈義町	36.1%		1	1			1	○
	西粟倉村	36.4%		1	1				○
	久米南町	45.7%		1	6	○		1	○
	美咲町	42.7%		1	3			1	○
計	35.9%	1	8	56	4	2	16	8	
合計	31.4%	9	29	161	22	30	164	27	

※高齢化率はR6. 10. 1時点、初期集中支援チームはR7. 4. 1時点、地域支援推進員はR7. 11. 30時点（当該年度中配置予定も含む）
 認知症カフェはR7. 5. 1時点、SOSネットワークはR7. 5. 31時点 その他はR7. 3. 31時点

岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画

項目	岡山県		
	実績 (R5年度末)	実績 (R6年度末)	目標 (R8年度末)
○普及啓発・本人発信支援			
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	239,789人	255,285人	280,000人
○医療・ケア・介護サービス			
認知症サポート医養成研修修了者数	295人	313人	365人
かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数 (累計)	2,021人	2,101人	2,200人
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 修了者数(累計)	2,418人	2,541人	2,900人
看護職員認知症対応力向上研修修了者数(累計)	619人	689人	730人
歯科医師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	1,090人	1,242人	1,360人
薬剤師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	2,303人	2,571人	3,030人
認知症介護実践研修(実践者研修)修了者数	10,693人	11,057人	11,700人
認知症介護実践研修(実践リーダー研修)修了者数	1,413人	1,487人	1,570人
認知症介護指導者養成研修修了者数	50人	51人	52人
○地域で支える体制の整備			
チームオレンジ設置市町村数	10市町村	17市町村	27市町村

各団体の認知症対策に関する取組について

団体名	岡山県医師会	資料	23 - 33
<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県医師会移動会長室事業 ・日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修介 ・岡山県医師会認定かかりつけ医研修会 			
団体名	岡山県歯科医師会	資料	34 - 36
添付の資料をご参照ください。 (歯科医師認知症対応力向上研修会)			
団体名	岡山県看護協会	資料	37
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ・認知症対応力向上研修 ・在宅アドバイザー派遣 			
団体名	岡山県薬剤師会	資料	38 - 43
添付の資料をご参照ください。 (認知症対応力向上研修会、「認知機能セルフチェッカーの貸出事業」について)			
団体名	岡山県介護福祉士会	資料	44
<ul style="list-style-type: none"> ① 施設スタッフのキャリアアップや資質向上及び定着を支援する事を目的とした事業『キャリア形成訪問指導事業』…福祉・介護施設・事業所を巡回し、施設の要望によって様々な研修を実施。 ② 家庭で介護をしている方、これから介護をする方を対象にした事業『介護入門教室』 ③ 家庭で介護をされている聴覚障害者の方を対象にした事業『聴覚障害者のための介護入門教室』 ④ 小学校・中学校・高校で実施した事業『福祉・介護の仕事出前講座(岡山県事業)』 			

団体名	岡山県老人福祉施設協議会	資料	45 - 46
チームで取り組む認知症介護実践研修会			

団体名	岡山県介護支援専門員協会	資料	—
研修会実施 テーマ:「認知症の”はじまり”をどう支えるか」 講師:寺田整司氏(慈圭病院認知症疾患医療センター長) 坂本綾子(岡山県介護支援専門員協会) 開催日:令和8年1月29日(木)			

団体名	岡山県老人保健施設協会	資料	47 - 52
添付の資料をご参照ください。 (認知症介護実践者研修、認知症介護実践研修(実践リーダー研修))			

団体名	認知症の人と家族の会 岡山県支部	資料	—
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の日(世界アルツハイマーデー)記念講演会の実施 ・オレンジ・メモリーウォークin倉敷の実施 ・認知症月間(世界アルツハイマー月間)において、各地域での啓発活動 岡山地域、倉敷地域、笠岡地域等で啓発リーフレットの配布及び関係団体へのポスター、リーフレットの啓発資材の提供 ・毎月、県内4カ所で認知症の人と介護家族の相談・交流会(つどい)の実施 岡山地域、倉敷地域、笠岡地域、井笠地域 ・毎月発行の「家族の会」本部・支部広報誌(ぼ〜れぼ〜れ)の無料配布 行政、地域包括支援センター、図書館、保健所、マスコミ関係等々 ・認知症に関する研修会、講演会等への講師派遣 			

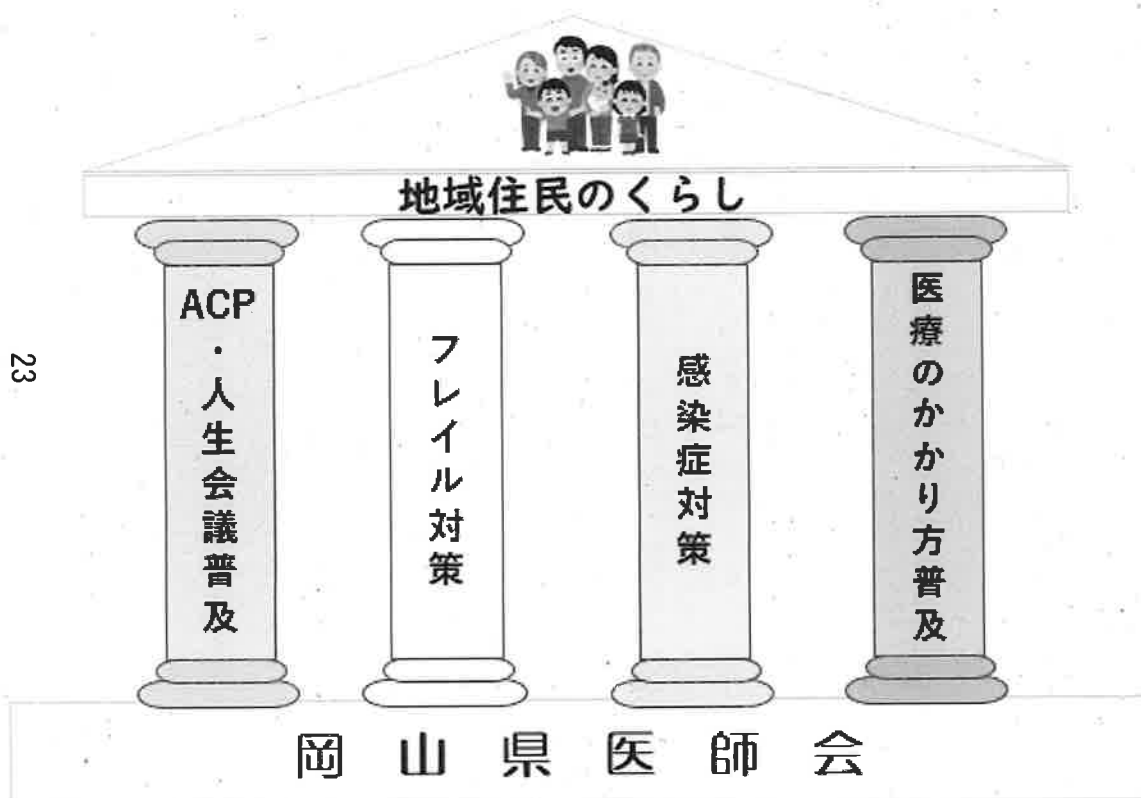
団体名	岡山県県民生活部くらし安全安心課	資料	53 - 56
<ul style="list-style-type: none"> ・消費者安全確保地域協議会について(資料別添) ・「見守り力アップ講座」について(資料別添) 			

団体名	岡山県教育庁人権教育・生徒指導課	資料	—
<p>人権課題で「高齢者」について、授業等に活用できる指導資料や人権教育研修テキスト等を作成し、学校への配付やホームページに掲載するなど、高齢社会や介護・福祉等についての理解を深める取組を進めている。</p>			

団体名	岡山県警察本部警務部警務課	資料	—
<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症に係る行方不明者について 2 高齢者虐待について 3 特殊詐欺被害について 4 高齢運転者対策について 			

岡山県医師会移動会長室事業

【実績】 平成30年6月～令和7年12月末 総計 138回 8,064名



- I. ACP・人生会議普及啓発
71回 4,369名
(うち生徒・学生対象15回 883名)
- II. フレイル対策教室(運動編・栄養編)
運動編:13回 643名
栄養編:19回 1,214名
フットケア編:1回 73名
- III. 感染症対策
9回 444名
- IV. 医療のかかり方普及啓発
20回 683名

- III. 受動喫煙防止教育
5回 638名



岡山県医師会移動会長室事業

I. ACP・人生会議普及啓発

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の総論と実際について事例を用いて分かりやすく解説します。

II. フレイル対策教室

(運動編・栄養編・フットケア編)

フレイル対策に欠かせない「運動」の実際と実技。「栄養編」では、てばかり法やポイントを解説。「フットケア編」では、足の見方とケア・爪の切り方等の実際を実技を交えて解説します。

III. 感染症対策セミナー

高齢者施設等感染症対策向上加算(Ⅰ)(Ⅱ)に該当する研修および実地研修として感染症対策の基本から解説します。

IV. 医療のかかり方普及啓発

(くすり・一次救命処置)

「くすり編」では、薬の役割や多剤・重複投与対応の考え方。

「一次救命処置」では、すぐに役立つ応急処置やAEDの使い方等実技を実施します。

地域に開かれた医師会を目指し、

県内各地域・施設・学校にて開催しています。

すでに多くの特養、老健等の施設でも開催しています。

皆さんの施設に出向きます(出前講座)

各講座について勉強会を開催しませんか?

(開催費用は無料です)

【お気軽にご相談ください】

○岡山県医師会 会長と内容に応じた講師で対応。

○開催時間：90分程度

○参加人数：10名程度以上～

○連絡先：岡山県医師会 地域医療課 担当：森

☎ 086-250-5111

E-mail chiiki@po.okayama.med.or.jp

移動会長室事業 県医

フレイル予防 たんぱく質を！

美咲町で第19回「けんこう長寿教室・栄養編」



犬飼先生の食事指導に聴き入る参加者＝美咲町林業センター

令和6年度最後の移動会長室事業である第19回「県医師会発！けんこう長寿教室・栄養編」が、令和7年3月27日（木）午後1時30分から同3時まで美咲町林業センターで開催された。同町での開催は2回目で、美咲町老人クラブ77名、役場職員3名、計80人が参加した。人口1万2,000人、高齢化率は約4割とされ、老人クラブの会員は約4,000人。参加者は、半数以上が男性であった。

津山市医師会の梶 俊策副会長の司会で開会。初めに、松山正春会長が「誰もが望むピンピンコロリ？」と題して講演。「ピンピンコロリ」は、残された家族にとっては心残りであり、理想的な亡くなり方かどうかは疑問だ、とした。独居高齢者の孤独死に伴う検視をしている警察協力医の存在を紹介し、「独居高齢者へいかに元気な段階で、地域として介入できるかが重要」と指摘。特に、男性独居は、介入が難しく、孤独死も多いという。「フレイル対策の一つである社会参加として、仲間とともに活動して欲しい」と力説した。

続いて、岡山済生会総合病院の犬飼道雄医師が、「元気に長生きするために～食事・運動のポイント～」と題して講演。“手ばかり”で毎日の食事量の目安を知り、バランスよく食べること、特に1食あたり約15gのタンパク質を摂取することが大切とした。目安は、納豆3パック。1食でこれだけ食べることは難しいので、毎食2種類のタンパク質食品を使う。あと一品に缶詰や冷凍食品を活用することも一手段とした。

フレイルは口から始まるので、歯磨きやかかりつけ歯科医師を持ち、定期的な検診・治療も重要とした。また、一人で運動だけする人と比べ、運動は出来なくても栄養に気を付け、社会参加をする人の方が、フレイルリスクが低いと説明。老人クラブの集まりなどへの積極的参加を呼びかけた。

当日は、栄養補助食品サンプルを提供し、上手に食生活に取り入れることを勧めた。老人クラブからの土産として、参加者に卵1パック（10個入り：タンパク質豊富な食材として選定）が贈られた。

なお、6年度の移動会長室事業は30回開催し、総参加者は1,700名であった。

移動会長室事業 県医

第71回「会長がゆく！虹色サロン」倉敷市
ACP 住民ら熱心に聴講



人形を使いハイムリック法を説明する中尾先生

第71回「会長がゆく！虹色サロン」が、令和7年12月6日（土）午後2時30分から同4時まで、倉敷市中島の介護老人保健施設「福寿荘」で、近隣住民、施設職員を対象に開催された。

参加者は、近隣42人、職員12人合わせて54人。

開会挨拶

倉敷記念病院 医師 小出 恭大 先生

講演Ⅰ「ACP…知っていますか？」

松山正春会長が自己紹介に続いて、岡山県医師会の災害救援活動やコロナまん延時での活動を紹介。移動会長室事業は、①ACP・人生会議普及啓発、②フレイル対策、③医療のかかり方普及、④感染症対策の4本柱があり、平成30年9月から令和7年11月までの7年3か月の間に135回開催し、計7,913人が参加した。中でも、ACP・人生会議普及が最も多く70回で4,357人。そのうち15回は、中高生を対象として開催され、883人が聴講、友人や家族にも話題が広がった。ACPとは、「将来の医療やケアについて、本人が中心となって家族や親しい人、医療・ケアチームが、本人の意思決定を支援するプロセス」であり、「生き方を考えること」。終末期には約70%の人が自分で意思決定ができないといわれており、早い段階で将来の変化に備えておくことが大切。遠方から突然帰ってきた家族が、一旦みんなで話し合っただけで決めたことを覆すこともある。ACPは若い世代も含め、全世代で必要なこと。ACPについて、「正月と誕生日の1年に2回は話し合っていたきたい」と結んだ。

講演Ⅱ「命の終い方～救急現場のACP～」

岡山大学病院高度救命救急センター 中尾篤典教授が、近年、同センターへの搬送患者は増加している、としたうえで、まず、咽喉頭に食べ物がかえ窒息状態の処置法を説明。参加者の多くは背部を殴打するとしたが、それでは窒息状態からは脱却しないこと、ハイムリック法という腹

部を強く圧迫する方法を教えた。延命治療は不要と言っていた人が、コロナ感染症により一旦人工呼吸器を装着されると、約60%の人が、装着を必要とする若い人に譲るのは嫌という話。簡単に死んで良い人はいない。救命と延命とは異なる。延命には様々な段階があり、前もって延命処置の種類 点滴、酸素投与、人工呼吸器などを知っておいてもらいたい。ACPの75%は覆されると言われるので、平時から繰り返して確認しておくことが重要。簡単に死んで良い人はいない。「臓器提供もACPの一つであり、運転免許証の裏に記載されているので見ておいてほしい」。同センターで亡くなった10歳代女性の母親に粘り強く説明した結果、臓器移植に辿り着いた例も紹介された。

質疑応答

- ・今晚、運転免許証の裏を見ておく。
- ・医療的処置は、誰しも喜んで受けるものではなく、やむを得ず受けることだ。延命治療をどうするかという議論に「人生会議」という名称には違和感がある。

閉会挨拶

倉敷記念病院介護事業統括責任者 影山 靖氏

(常任理事 木村 丹)



yy

御津医師会：山中慶人

移動会長室事業 県医

フレイル対策 大切な足のケア 浅口市で第1回「フットケア編」



講師(手前左から3人目) からシャボンラッピングの仕方を教わる参加者

移動会長室事業の柱の一つ、第33回「フレイル対策」で、初の「フットケア編」が、令和7年12月11日(木)午後7時から同8時30分まで、浅口市鴨方町の市健康福祉センターで開催された。高齢者の7割は足に問題を抱えているとされ、「介護現場ではフットケアが重要」。参加した浅口市や里庄町の医療介護従事者73人は、足の動脈触知についてやケアの仕方を学んだ。

開会挨拶

浅口医師会 新津 頼一 副会長

講演Ⅰ「岡山県医師会の活動報告」

岡山県医師会 松山 正春 会長

岡山県医師会は役員20人、震災や水害など災害時の救援、コロナ感染症対策などのほか、行政との折衝、研修会主催、県民公開講座を実施している。移動会長室事業は、ACP普及啓発、フレイル対策、感染症対策、医療のかかり方普及を4本柱として、平成30年9月の第1回以来、令和7年11月末までに計136回開催、7,967人が参加した。今回は森田先生によるフットケアに関する講演、3人の講師による実技があり、フットケアについて学んでほしい。

講演Ⅱ「フットケア、何をする・何ができる」

川崎総合医療センター血管外科 森田 一郎 部長

フットケアとは、足の観察、足浴、爪切り、胼胝(べんち)・鶏眼(けいがん)処置、創傷処置、保湿などで足の健康を維持し向上させるための方法・技術をいう。フットケアの始まりは、1980年代、糖尿病の管理が不十分で下肢が壊死し、切断せざるを得ない患者が増加したことによる。

岡山県民の平均寿命は男女とも上位だが、健康寿命は中位、すなわち予防が悪いといえる。健康寿命の延伸には、フットケアが重要だ。足の観察は、歩行、色調、浮腫、変形、潰瘍など。間欠性跛行のうち、動脈性は少し休むと歩ける、静脈性は歩行時に症状はないが立ち止まると疼痛が出現、脊柱管狭窄症は歩行時に疼痛があり前傾姿勢で軽減する。糖尿病性の足病変には、末梢循環障害による壊疽(えそ)、自律神経障害による皮膚の乾燥・亀裂、運動神経障害による足の変形がある。足の動脈触知は、大腿動脈、足背動脈、膝窩動脈、後脛骨動脈の4カ所が重要。健康寿命延伸のため、トータルフットケアを拡げていきたいと考えている。

講演Ⅲ 「日々のケアでフレイル予防！」

Rehope岡山 三宅よしえ氏

フレイルとは、年齢とともに心身の活力が低下し、生理機能障害が出現、要介護状態、死亡などの危険性が高くなった状態。その予防には、栄養、身体活動、社会参加があり、フットケアは足の身体活動を支え、その効果は元気に歩ける、気持ちが明るくなる、生活の質の向上が挙げられる。足を守るためには、筋力保持、動脈触知、爪切りに留意すること。高齢者の7割は、足に問題を抱えており、介護現場でフットケアに取り組んでいただきたい。

実技：「シャボンラッピング、動脈触知、軟膏塗布」

Rehope岡山 三宅よしえ氏、倉敷中央病院 石井富美江氏、倉敷平成病院 高下 昌子氏

シャボンラッピング(ビニール袋に弱酸性ボディソープと水10ml程度を入れて泡だたせマッサージ)、動脈触知(大腿動脈、膝窩動脈、足背動脈、後脛骨動脈の4カ所)、軟膏塗布(保湿外用薬塗布、外用薬には軟膏、クリーム、ローションがあり、足の外用薬経皮吸収率は他の部位に比べ低い)について。

参加者から3人がモデルとなり、講師の指導でシャボンラッピングを体験した。

【参加者からの感想】

- ・今まで足について深く考えたことはなく、足の重要性が理解できた。
- ・施設で寝たきりの人にも応用できる。

(常任理事 木村 丹)

「日医かかりつけ医機能研修制度 令和7年度 応用研修会」 (映像研修)のご案内

1. 開催日 令和7年11月2日(日) 10:00~17:25
 2. 会場 岡山県医師会館 三木記念ホール
 3. 主催 岡山県医師会
 4. 構成 プログラムのとおり
 5. 対象 医師(岡山県内)
 6. 定員 200名
 7. 申込先 岡山県医師会 地域医療課
 TEL 086-250-5111 FAX 086-251-6622
 E-MAIL chiiki@po.okayama.med.or.jp

オンライン参加を希望される方へ

日医主催のWeb講習会が本年度内に2回(10月19日(日)、
11月3日(月・祝)、各回定員2,500人)開催されます。
本号をご参照ください。

8. 申込期間 10月24日(金)17:00まで ※お申込受付完了の通知等はいたしません。
 *定員となり次第締め切らせていただきます。
(定員となった後にお申し込みいただいた場合のみご連絡いたします)
9. 申込方法 岡山県医師会ホームページトップページ内の「トピックス」より「受講申込書」
 をダウンロード、または、下記「受講申込書」により岡山県医師会までFAXして
 ください。
10. 単位 日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修 : 6単位
 日医生涯教育カリキュラムコード : 6単位(6CC)
11. お願い
- ・昼食は各自でご準備ください。
 - ・会員専用駐車場の台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
 - ・研修会をやむを得ず中止する場合があります。中止する場合は、県医師会ホームページでお知らせいたします。

FAX : 086-251-6622

11/2(日)日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会 (岡山県医師会館三木記念ホールにて映像研修)

「受講申込書」

ふりがな			
お名前			
医籍登録番号		生年月日(西暦)	
医療機関名			
住所	〒		
電話番号			

研修会へのお申込みにつきましては、次の「個人情報の取り扱い」をご確認いただきまして、「MAMIS（医師会会員情報システム）」における登録情報等の共有についてご同意の上、お申し込みください。

＜個人情報の取り扱い＞

本研修会の受講申込に際して得た個人情報につきましては、本研修会の運営に関してのみ使用いたします。また、「日医かかりつけ医機能研修制度」における応用研修会の受講実績をはじめ修了申請者の管理等をMAMISにて行います。日本医師会および都道府県医師会（郡市区等医師会）は、本制度の円滑な運営のために必要があると認めるときは、受講者のために必要な範囲で、MAMISの管理者アカウントもしくはMAMISの当該受講者のアカウントを利用してMAMISにログインし、データ登録およびその他必要な処理を行います。予めご了承ください。なお、当該処理により、各医師会が行った操作の結果は、当該利用者に帰属します。

日医かかりつけ医機能研修制度 令和7年度応用研修会（映像研修）プログラム

日 時：11月2日（日）10:00～17:25

場 所：岡山県医師会館 三木記念ホール

※ 本研修会は、令和7年9月21日（日）に日本医師会主催で開催された令和7年度応用研修会（第1回）の映像研修です。

10:00	開会挨拶	
10:05	講義	
10:05～11:05 (60分)	1. 肝臓病の診断と治療 竹原 徹郎（独立行政法人 労働者健康安全機構 関西ろうさい病院 病院長）	応用研修 1-10 : 1 単位、生涯教育 CC82:1 単位
	<休憩 5分>	
11:10～12:10 (60分)	2. 慢性腎臓病(CKD)の診断と治療 成田 一衛（新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター センター長）	応用研修 2-10 : 1 単位、生涯教育 CC73:1 単位
	< 昼食休憩 55分 >	12:10～13:05
13:05～14:05 (60分)	3. 高齢者肺炎の治療と多職種連携 海老原 覚（東北大学大学院医学系研究科 臨床障害学分野 教授）	応用研修 3-10 : 1 単位、生涯教育 CC15:1 単位
	<休憩 5分>	
14:10～15:10 (60分)	4. かかりつけ医に必要な骨粗鬆症への対応 井上 大輔（帝京大学ちば総合医療センター 病院長、内分泌代謝内科教授）	応用研修 4-10 : 1 単位、生涯教育 CC77:1 単位
	<休憩 5分>	
15:15～16:15 (60分)	5. かかりつけ医とリハビリテーションの連携 木下 翔司（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 講師）	応用研修 5-10 : 1 単位、生涯教育 CC19:1 単位
	<休憩 5分>	
16:20～17:20 (60分)	6. 事例検討～在宅医療における連携／認知症を含むマルチモビディティへの取組～ 「在宅医療における連携」(30分) 織田 正道（社会医療法人祐愛会 織田病院 理事長） 「認知症を含むマルチモビディティへの取組」(30分) 近藤 敬太（藤田医科大学 連携地域医療学 助教、 豊田地域医療センター総合診療科 在宅医療支援センター長）	応用研修 6-10 : 1 単位、生涯教育 CC80:1 単位
17:20	閉会挨拶	
17:25	閉会	

※内容等が変更となる場合があります。

（令和7.6.27 現在）

「岡山県医師会認定かかりつけ医研修会」のご案内

(地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会)

1. 開催日時・会場・定員 ※Web配信はありません。

	開催日	開催時間	会場	定員
A	令和7年7月6日(日)	10:00~18:00	岡山会場 三木記念ホール	200名
B	令和7年9月7日(日) ※Aの映像研修です。	10:00~18:00	岡山会場 三木記念ホール	200名
C	令和7年10月5日(日) ※Aの映像研修です。	10:00~18:00	津山保健センター 会議室(2階)	30名

2. 主催 岡山県医師会

3. 対象 医師(岡山県内)

4. 申込先 岡山県医師会 地域医療課 TEL 086-250-5111 FAX 086-251-6622

5. 申込期間 令和7年6月9日(月) ~ 6月20日(金)まで

定員となり次第締め切らせていただき、岡山県医師会ホームページでお知らせいたします。定員後にお申し込みいただいた場合はご連絡いたします。

6. 申込方法 「受講申込書」へご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

7. 単 位 岡山県医師会認定かかりつけ医制度 : 新規・更新研修
日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修(関連研修): 2単位
日医生涯教育カリキュラムコード : 7単位(1000)

8. お願い

- ・ 昼食は各自でご準備ください。
- ・ **A**及び**B**につきまして、会員専用駐車場の台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

FAX : 086-251-6622 「岡山県医師会認定かかりつけ医研修会」

※申込期間 令和7年6月9日(月) ~ 6月20日(金)まで

「受講申込書」

(ふりがな)			
お名前			
医籍登録番号	生年月日	T・S・H	年 月 日
医療機関名			
住 所	(〒 -)		
電 話 番 号	() -		
希望参加日に○をしてください	<input type="checkbox"/> A (7/6(日)岡山会場) <input type="checkbox"/> B (9/7(日)岡山会場) <input type="checkbox"/> C (10/5日(日)津山会場)		

9. プログラム

* 9月7日(日)及び10月5日(日)開催の研修会は、7月6日(日)の映像研修となります。

開催日：令和7年7月6日(日)

10:00	(1) 開会・挨拶 (5分)	岡山県医師会長 松山 正春	生涯教育制度 CC：単位
	(2) 講 義		
10:10	1. 認知症 (60分) 三原 雅史 (川崎医科大学 神経内科学 教授)		CC29：1
11:10	2. 糖尿病 (60分) 四方 賢一 (岡山大学 名誉教授・特命教授)		CC76：1
12:10	< 休憩・昼食 > (40分)		
12:50	3. 脂質異常症 (60分) 内田 治仁 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 CKD・CVD 地域連携包括医療学講座 教授)		CC75：1
13:50	4. 高血圧症 (60分) 上村 史朗 (川崎医科大学 循環器内科 教授)		CC74：1
14:50	5. 禁煙指導 (30分) 西井 研治 (岡山県健康づくり財団附属病院 院長)		CC11：0.5
15:20	6. 死体検案 (30分) 三浦 雅布 (川崎医科大学 法医学教室 准教授)		CC81：0.5
15:50	< 休憩 > (5分)		
15:55	7. 健康相談 (30分) 菅崎 仁美 (岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 会長)		CC4：0.5
16:25	8. 服薬管理 (30分) 赤松 祐介 (岡山県薬剤師会 在宅委員会委員)		CC73：0.5
16:55	9. 介護保険 (30分) 三石 哲也 (一般社団法人 岡山県介護支援専門員協会常務理事)		CC13：0.5
17:25	10. 在宅医療 (30分) 小森 栄作 (医療法人ザイタック ももたろう往診クリニック 院長)		CC80：0.5
17:55	(3) 閉会・挨拶 (5分)		
18:00	(4) 終了		

※内容等が変更となる場合があります。

(R7.4.25 現在)

令和7年度 歯科医師認知症対応力向上研修会

「アルツハイマー病～抗アミロイドβ抗体薬による新たな治療～」

□ 日 時

令和8年2月19日（木）

19:00～21:00

□ 会 場

岡山県歯科医師会館 2階 もも丸ホール

及びWeb配信【Zoom】

日 程

19:00 開 会

挨 拶

岡山県
子ども・福祉部
長寿社会課

安井 誠一 課長

会 長

西岡 宏樹

19:10 研修Ⅰ

慈恵病院
認知症医療センター
センター長

寺田 整司 先生

20:10 研修Ⅱ

常務理事

清水 裕雄

21:00 閉 会

副会長

小見山 信

■当日、以下のものをご持参下さい。

1. プログラム
2. 日歯生涯研修事業ICカード

※この研修は施設基準「口管強」「歯援診」の届出に係る研修に該当します。

岡山県 ・ 岡山県歯科医師会

(岡山県委託事業)



【 研修 I 】 基礎知識と連携・制度

慈圭病院 認知症疾患医療センター センター長

てら だ せい し
寺 田 整 司 先生

【 抄 録 】

アルツハイマー病に対する抗アミロイドβ抗体薬が、本邦で発売されてから2年余りになります（レケンビは2023年12月～、ケサンラは2024年11月～）。現時点で、2剤が使用可能となっていますが、まだまだ発売されてから日が浅いこともあり、はっきりしない点も多々残っています。

今回の研修会では、まず、アルツハイマー病の病態機序について、初級編・上級編・最上級編と分けて解説します。具体的には、一般的なアミロイド仮説、より詳細なアミロイド仮説、そしてプリオン様伝達となります。次に、後半では、レケンビとケサンラそれぞれについて、これまた、初級編・上級編・最上級編と分けてお話しします。具体的には、一般向けのお話、第3相治験の詳細な比較、そして治療にあたり留意しておくべきこと、となります。また、最後に、時間があれば、最近の学会報告にも触れる予定です。

今回も、内容が盛り沢山すぎて、途中で「終わり」になるかもしれませんが、参加された先生方にとって、少しでも有益な内容になればと思っています。

【 略 歴 】

平成 2年 3月	岡山大学医学部医学科	卒業
平成 2年 4月	岡山大学医学部神経精神医学教室	入局
平成 2年 6月	高見病院 精神科・神経内科	医師
平成 4年 6月	山陽病院 精神科・神経内科	医師
平成 7年 4月	岡山赤十字病院 精神科・神経内科	医師
平成 10年 4月	岡山大学病院 精神科神経科	医員
平成 12年 10月 16日	岡山大学病院 精神科神経科	助手
平成 17年 11月 1日	岡山大学病院 精神科神経科	講師
平成 23年 5月	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 精神神経病態学准教授	
令和 7年 4月	慈圭病院 認知症疾患医療センター長（慈圭精神医学研究所 副所長）	
	現在に至る	

【 資格・免許 】

平成 2年 5月	医師免許証取得
平成 9年 4月	精神保健指定医
平成 13年 10月	医学博士
平成 20年 9月	認定産業医

【 専門分野 】

精神医学一般、認知症、老年精神医学

【 加入学会ほか 】

日本精神神経学会（指導医・専門医）	日本老年精神医学会（評議員・指導医・専門医）
日本認知症学会（評議員・指導医・専門医）	日本神経学会（指導医・専門医）
日本神経病理学会（評議員・指導医・専門医）	日本臨床精神神経薬理学会（指導医・専門医）
日本神経生理学会（脳波指導医・脳波専門医）	国際老年精神医学会
日本臨床倫理学会（理事・評議員・上級臨床倫理認定士）	など



【 研修Ⅱ 】 かかりつけ歯科医の役割

一般社団法人 岡山県歯科医師会 常務理事

し みず ひろ お
清 水 裕 雄

【 抄 録 】

高齢者の6人に一人が認知症とされていますが、全国平均より高齢化が進んでいる岡山県では、住民の15人に一人が認知症で、9人の若年者と5人の認知症ではない高齢者が一人の認知症高齢者を支えることを意味しています。全身疾患の有病率も高い傾向にある高齢者への歯科治療は、認知症が進行すると徐々に難しくなってきます。かかりつけ歯科医であるからこそ気付ける軽度認知症の兆候を理解することは、その後の治療においてとても重要になります。来院できるうちに診療室でないとできない治療をしっかりと進めておくことは、口腔内を含め全身の健康状態を少しでもいい状態に保つことにつながります。

今回も基本知識編を踏まえて、認知症に早期に気づくためのポイントや歯科医療機関での具体的な対応とそれに必要な知識を、動画なども見ていただき、学んでいただきます。医院全体で認知症の人や家族への支援を行う基本的知識を持っていただければ幸いです。

【 略 歴 】

昭和63年	岡山大学歯学部歯学科卒業
平成4年	岡山市で開業
平成10年	医学博士
平成25年	岡山県歯科医師会理事
平成26年	GRAND DENTAL CLINIC 理事長
令和2年	岡山大学臨床教授
令和3年	岡山県歯科医師会常務理事 現在に至る

【MEMO】

令和 8 年 2 月 13 日

令和 7 年度岡山県認知症対策連携会議 岡山県看護協会活動報告

計画通り以下の研修を実施し 217 名の受講があった。



依頼により実施している地域での健康応援出前講座を 8 件、在宅アドバイザー派遣を 3 件実施した。

研修名	開催日	期間	開催方法	受講者数	研修目的・目標
【認知症ケア加算 2 および 3 対象研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 A 日程	9/9 (火)	1 日	eラーニング 終了後 会場	142 名	1. 認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる 2. 入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる (対象) 看護師(認知症ケア加算 2 および 3 の施設基準に準ずる) <注意事項> 先着順です ・各日程、先着 80 人 ・同一施設からの複数の申込は可能な限り分散してお申込みください 日程・受講者の変更はできません
【認知症ケア加算 2 および 3 対象研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 B 日程	9/10 (水)	1 日			
※岡山県委託 認知症対応力向上研修事業 【認知症ケア加算 2 および 3 対象研修】 認知症対応力向上研修 (3 日間) A 日程 (県)	10/3 (金)	3 日	会場	75 名	病院に勤務するリーダー的看護職員が認知症患者の対応に必要な知識・技術を修得し、各施設での認知症患者の対応力向上につなげる。 1. 認知症についての基本的な知識について理解できる 2. 個々の認知症患者の実践的な対応について学ぶ 3. 院内外の連携について理解できる 4. 自施設の認知症患者の対応力向上のためのマネジメント及び人材育成について理解できる 5. 認知症患者の対応について振り返り、自己の課題を明らかにし、解決の方向性を見つけることができる (対象) 病院に勤務するリーダー的な役割の看護職員 (認知症ケア加算 2 および 3 に準ずる) ※1 日目、3 日目は A・B 日程合同で開催します ※ 受講申込書の備考欄に「氏名のフリガナ」と「生年月日(西暦)」を記載してください (県からの修了証に必要になります)
※岡山県委託 認知症対応力向上研修事業 【認知症ケア加算 2 および 3 対象研修】 認知症対応力向上研修 (3 日間) B 日程 (県)	10/6 (月) 1/7 (水)				

地域での健康応援出前講座：認知症をもっと知ろう 8 件

在宅アドバイザー派遣：認知症のある人の意思決定支援 2 件

認知症の人とのコミュニケーション 1 件

令和7年度 薬剤師認知症対応力向上研修会【厚生労働省事業研修会】	
日時	令和7年7月27日（日）9:00～12:35
開催方法	オンライン開催（Zoomウェビナー）
内容	<p>本研修会は、認知症高齢者の増加に伴い、かかりつけ薬剤師が認知症患者とその家族を支えるために必要な基本知識や、適切な認知症ケアについて理解し対応ができるようにするための研修会です。今後の業務に必ず役立つものと思います。また、本研修会は、厚生労働省事業研修会となります。後日、岡山県より修了証書が発行されます。</p> <p>「認知症の周辺症状とその治療」（60分間） 岡山赤十字病院 精神神経科 大塩 健文 様</p> <p>「かかりつけ薬剤師の役割」（30分間） 在宅委員会 委員 赤松 祐介</p> <p>「薬局業務における実践」（60分間） 在宅委員会 委員 小川 泰治</p> <p>「地域・生活における実践」（60分間） 在宅委員会 委員 辻本 正浩</p>
対象	薬剤師
定員	300名
参加費	無料 ※PECS受講単位が必要な非会員 1,000円（内税10% 90円）
申込方法	<p>岡山県薬剤師会ホームページからの申し込み 会員ページ > 講習会 > 認知症対応力向上研修会 https://www.opa.or.jp/mem/kousyuu/index.php?kousyuu_id=266363</p> <p>日薬研修プラットフォームからの申し込み https://nichiyaku.manaable.com/signup</p>  
申込締切	令和7年7月18日（金）
研修単位	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度（PECS 2単位）申請中 日本薬剤師会生涯学習JPALS認定薬剤師制度【研修会コード：33-2025-0006-101】
アーカイブ 配信	予定なし
主催・共催	主催：一般社団法人岡山県薬剤師会（登録番号：T4-2600-0500-8793）
お知らせ	*参加費のお支払いには決済システムとして「fincode byGMO」を採用しています。

- ※ PECS単位取得については、当会ホームページの参加申し込みページをご確認ください。
- ※ 参加費等のご負担をお願いする方には後日事務局よりご連絡します。
- ※ インボイス制度開始に伴い、当案内及び通帳等の支払の記録をもって、適格請求書とさせていただきます。
- ※ 日薬研修プラットフォームについては当会ホームページでご案内しています。
<https://www.opa.or.jp/other/00167007.php>

委員会活動／在宅委員会

① 令和7年度薬剤師認知症対応力向上研修会

② 遠藤繕成

【Web 研修】

講演内容

「認知症のBPSD（周辺症状）とその治療」（60分間）

講師：岡山赤十字病院 精神神経科 医師 大塩健文 先生

「かかりつけ薬剤師の役割」（30分間）

在宅委員会 委員 赤松祐介

「薬局業務における実践」（60分間）

在宅委員会 委員 小川泰治

「地域・生活における実践」（60分間）

在宅委員会 委員 辻本正浩

日時：令和7年度7月27日（日）9:00～12:40

令和7年度薬剤師認知症対応力向上研修会を開催しました。研修を実施する事により、薬剤師が認知症に対する理解を深め、認知症の疑いがある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた服薬指導を適切に行う事を目的としています。

最初に大塩先生より、「認知症の診断基準」「認知症の原因」「中核症状とBPSDについて」「BPSDへの対応・治療」「せん妄」についてご講演頂きました。

特に印象に残ったのは、

- ・BPSDは中核症状以上に介護者や医療従事者の大きな負担となっていること
- ・BPSDの非薬物療法及び薬物療法（症状別の治療について）
- ・せん妄と認知症は別の疾患だが、両者は併存していることが多いこと

認知症とその家族等に関してできる限りのサポートをするために認知症及びそれに関連する疾患と治療への理解を深める必要があると感じました。

次に赤松先生より、かかりつけ薬剤師の役割として「認知症の早期発見・早期対応」「多職種連携の必要性」についてご講演頂きました。本人の視点を重視したアプローチをする事によって、本人にとってのよりよい暮らしが出来る事を学びました。

次に小川先生より、薬局業務における実践として「認知症の薬物療法」「投薬時の注意点」「認知症の人への対応」についてご講演頂きました。認知症の人とのコミュニケーションを高めるためには、本人に寄り添い、本人の意思をくみ取るように意識し、介護家族への支援も重要である事を学びました。

最後に辻本先生より、地域・生活における実践として「認知症の人への支援」「多職種連携」「認知症サポーター」についてご講演頂きました。認知症の人の地域における生活を支える為に必要な支援の基本、活用できる医療・介護等の施策、地域連携の重要性について学びました。

この研修を通じて私は、認知症の症状とその治療、また認知症の人とその家族を支える為に必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性について学ばせて頂きました。

今後も在宅委員会として、厚生労働省事業である認知症対応力向上研修会を実施していこうと思います。

→令和8年度6月 実施予定



認知機能セルフチェッカー

Cognitive function Self checker

Lite版

正解を見つめるだけで

認知機能を3分で評価

筆記や口頭での回答は一切必要なし。

認知症予防に向けたきっかけ作りに。



※「認知機能セルフチェッカー」は、株式会社 FOVEが提供する製品・サービスです。

健康な方を対象にサービス提供することで、**MCIの早期発見**を促し、個人が健常レベルへ回復するための行動変容を行うことを目指します



多くの診断がこのタイミングで行われる

サービス対象者

健常者

軽度認知障害 (MCI)

軽度認知症

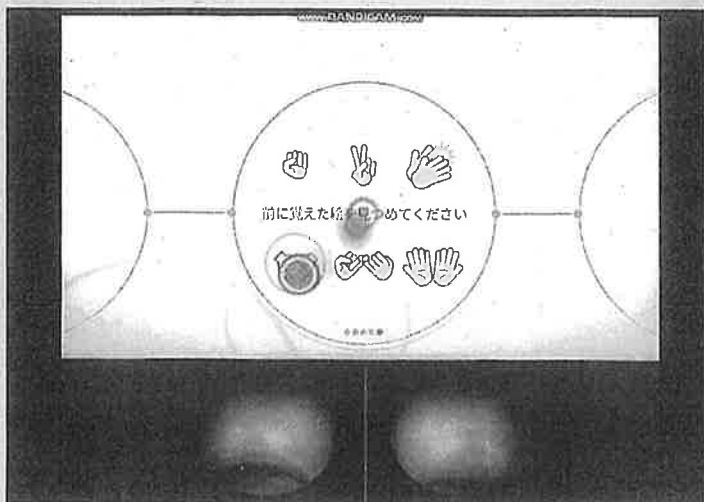
中等度認知症

重度認知症

MCIから
健常レベルへの
回復率14~44%

MCIから認知症への
推移率[※]
1年で約10%

※Bruscoli M, Lovestone S. Is MCI really just early dementia? A systematic review of conversion studies. Int Psychogeriatr. 2004 Jun;16(2):129-40.より引用



医療機関で実際に利用される
「神経心理学的検査」をベースに、
5つの認知領域を
(記憶、注意、言語、計算、空間認識)

利用者は**正解の選択肢**を
見つめることで回答します

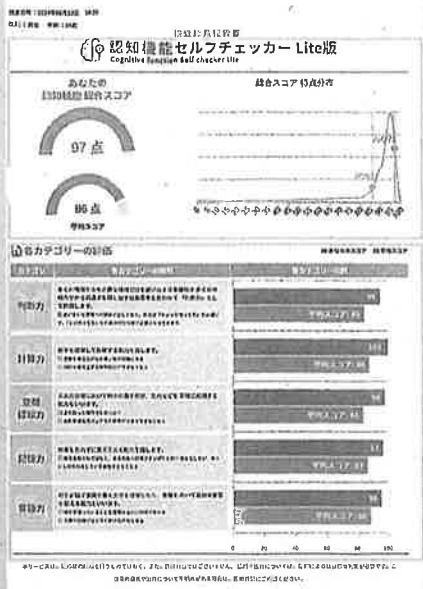


本機器は、認知症の診断を行うものではなく、また医療機器ではありません。診断・治療については医師による複合的な判断が必要です。

テスト結果

〈表・上部〉

総合評価点(100点満点)と、利用者全体での順位がグラフ表示されます



〈表・下部〉

総合点を構成する5つの認知カテゴリー各々の点数を表示します



MCI(軽度認知障害)とは、認知症の一步手前の状態のこと

MCIは、ご本人がご自身の記憶力の低下や、日常生活に支障をきたすことがない程度で、認知症と見分けられる状態です。認知症と見分けられる状態です。

MCI(軽度認知障害)対策

MCIは軽度認知障害、認知症のリスクがある状態です。認知症を予防するためには、認知症のリスクを減らすことが重要です。

- ① 認知症のリスクを減らすこと
- ② 認知症のリスクを減らすこと
- ③ 認知症のリスクを減らすこと

MCIに関するQ&A

- 認知症のリスクを減らすこと
- 認知症のリスクを減らすこと
- 認知症のリスクを減らすこと

〈裏面〉

認知症の一步手前の状態である「軽度認知障害(MCI)」についての説明と、予防のために必要なことを説明します

利用者の声(導入医療機関でのアンケート「利用した理由は?」)



脳ドックと一緒にテストを受けることで、自分の脳の状態をより詳しく知りたいと思ったので利用した
50代男性



人の名前がパッと出てこなかったり、家の鍵を閉めたかどうか等の物忘れがあり、不安を感じたので利用した
50代女性



母親が認知症になったのをきっかけに、人ごとではないと思い、本サービスを利用した。
40代女性



家族にすすめられ、認知症になったら家族にも大きな負担を掛けてしまうと思い利用した。
60代男性

サービス
利用料

月額レンタル費用

1セットあたり
19,800円(税込)

- 初期費用 55,000円(税込)/セット
- 返送費用 1,100円(税込)/セット(返却時)
- 契約期間 初回6ヶ月(以後、1年ごとの更新)
- 支払条件 初期費用前払い+月額利用料の翌月末支払い
- 納期 発注後、5営業日以内(沖縄、離島を除く)

*インターネット接続不要のプランもございます。
詳細は右記ページ内の【お問い合わせ】フォームよりご連絡ください。

レンタル内容

- テスト機器1セット
 - 販促資材(ポスター、チラシ等)
- 導入店舗様で準備が必要なもの
- 机および椅子
 - 電源(コンセント1つ)
 - インターネット接続(有線・無線とも可)
 - パソコン(ブラウザ利用)
 - プリンター(結果用紙印刷)

サービス詳細・お問い合わせは

こちら⇒



「認知機能セルフチェッカーの貸出事業」について

当会は認知機能セルフチェッカーの貸出事業を実施しています。

自薬局で実施する健康フェアなどイベント、また、他団体等からの派遣依頼（イベント・出前講習会など）での「認知機能測定」に活用されています。

一般社団法人岡山県介護福祉士会 認知症対策

■ キャリア形成訪問指導事業(抜粋)

福祉・介護施設・事業所を巡回し、介護技術等に関する研修を行うことにより、職員のキャリアアップや資質の向上及び定着を支援することを目的とした事業。本会会員講師を派遣し、下記のとおり実施した。

申込件数 26件	⇒	実施件数 24件	受講者総数 255名
----------	---	----------	------------

—実施詳細—

実施日	施設名・参加者数	テーマ
2024年12月18日	グルーホーム 美星 (4名)	認知症の理解とケア
2024年12月21日	グループホーム みらい (8名)	認知症の理解とケア
2025年1月16日	グループホーム はるや (10名)	認知症の理解とケア
2025年1月28日	ケアハウス 楽々園 (7名)	認知症の理解とケア

■ 介護入門教室(抜粋)

家庭で介護をしている方、これから介護する方を対象に介護制度や、移動・排泄・食事介助等の内容について20件実施した。(受講者総数368名)

実施日	地区名	会場・参加者数	内容
2024年8月27日	岡山	大上集会所 (大上なかよし会、6名)	認知症の話
2024年11月10日	岡山	きらめきプラザ (盲ろう友の会、8名)	盲ろう者支援員養成講座「高齢者の特徴」
2025年1月16日	岡山	岡山市立平福小学校 P 特別教室 (85名)	認知症の話

■ 聴覚障害者のための介護入門教室 (抜粋)

家庭で介護をしている聴覚障害者の方を対象に下記の内容にて実施した。(受講者総数36名)

実施日	会場・参加者数	内容
2025年2月21日	ももハウス (20名)	地域で元気に過ごすために フレイル認知症予防について

■ 福祉・介護の仕事出前講座 (岡山県事業) (抜粋) 小学校14校、中学校2校、高等学校4校 (合計) 20校、1,046名

実施日	学校名・参加者数	内容
2024年10月1日	岡山市立庄内小学校 4年生 (75名)	アイマスク体験、仕事の内容・やりがい
2024年6月3日	岡山市立芥子山小学校 4年生 (130名)	高齢者の暮らしやどんなことに不便さを感じている

令和7年度 岡山県老人福祉施設協議会
軽費・ケアハウス部会 × 養護老人ホーム部会
チームで取り組む認知症介護実践研修会
開催要綱

※この研修会は法定研修(「認知症介護実践研修(実践者)(リーダー)」等)ではございません。

1. 趣 旨

本研修会は、軽費老人ホーム・ケアハウスと養護老人ホームの介護職員を主な対象とし両部会が合同にて企画いたしました。認知症の基礎知識やケアについて知識を深めるとともに、認知症の方への適切なチームケアの実践につなげることを目的に開催いたします。

2. 主 催

岡山県老人福祉施設協議会 軽費老人ホーム・ケアハウス部会 / 養護老人ホーム部会

3. 日 時

令和8年1月14日(水)10:00～16:00(受付開始 9:30)

4. 会 場

きらめきプラザ 3階 301会議室(岡山市北区南方2丁目13-1)

5. 参加対象

県老協会員施設 養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウスの介護職員でリーダー・指導者等、中堅以上の職員(※特養、老健、デイ職員も参加可能です)

6. 定 員 40名

7. 内 容

講義・演習 10:05～12:00

「認知症の病気の理解、認知症の人の心理的理解」「認知症の人の環境を考える」

講師:介護老人保健施設 和光園 藤井 一樹 氏

昼食休憩 12:00～13:00

講義・演習 13:00～16:00

「認知症ケアと職場内教育(OJT)」

「チームケアのためのよりよいチーム創り」

講師:特別養護老人ホーム唐松荘 施設長 池田 和泉 氏

8. 参加費について

無料(県老協会員施設)

9. 参加申込

下記申し込み専用フォームより、令和8年1月9日(金)までにお申込ください。

<https://forms.gle/KduBvgwjZPKaHa8Z7>



◀QRコードからも申し込み
フォームに進めます

10. 会場のご案内

- ・会場には研修会参加者用の駐車場がございません。ご不便をお掛けしますが、公共交通機関でお越しいただくか、周辺の有料駐車場をご利用ください。
- ・昼食の斡旋等はありませんので、各自でご用意ください。(きらめきプラザ1階ではお弁当やパンの販売がある他、軽食喫茶もございます)

11. 昨年度参加者の声(事後アンケートより一部抜粋)

- 利用者も職場もコミュニケーションが大事な事。再確認ができた。
- チーム作りをどのように進めていくべきか悩んでいたのに、具体的に教えていただけ、参考になりました。
- 新しい認知症への理解ができチーム作りの考え方が参考になりました。
- 認知症について、より理解を深めることができました。他施設との情報交換もでき、良い時間を過ごす事ができました。
- 認知症やそのケアについて、より一層理解を深めることができました。現在働いている施設でも、ケアに困っている事例があるので、今日の研修内容を参考にケアの仕方を考えてみようと思います。
- 認知症の様々な症状を知ることができました。それぞれにあったケアを考えていきたいと思いました。目標を決めて、いいチームをつくりたいと思いました。



12. 申込・問合せ先

岡山県老人福祉施設協議会事務局 担当:三宅(岡山県社会福祉協議会 地域福祉部内)
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階
TEL:086-226-3529 FAX:086-227-3566
E-mail:miyake@fukushiokayama.or.jp
URL:<https://www.okayama-roushikyo.jp/>

一般社団法人 岡山県老人保健施設協会

令和7年度 認知症介護実践研修（実践者研修）募集要項

1 目的

認知症介護実践研修（実践者研修）（以下「実践者研修」という。）は、認知症についての理解のもと、本人主体の介護を行い、生活の質の向上を図るとともに、行動・心理症状(BPSD)を予防できるように認知症介護の理念、知識、技術を修得するとともに、地域の認知症ケアの質向上に関与することが出来るようになることを目的として開催します。

なお、本研修は、「認知症介護実践者等養成事業の実施について」（平成18年3月31日付老発第0331010号厚生労働省老健局長通知）に規定する認知症介護実践研修の実施主体として、岡山県知事から指定を受け実施します。

2 研修実施機関

一般社団法人 岡山県老人保健施設協会（以下「岡山老健協」という。）

3 研修対象者

この研修は、岡山県内の介護保険施設・事業所に従事する介護職員等で、原則として認知症介護基礎研修を修了した者あるいはそれと同等以上の能力を有する者であり、身体介護に関する基本的知識・技術を修得しており、実務経験2年を有する者を対象とします。

なお、同一研修（痴呆介護実務者研修(基礎課程)を含む）修了者の再受講はできません。

4 定員数 36名

5 受講料 岡山老健協（会員）28,000円 /（非会員）33,000円

※受講料は受講決定通知時の案内に従って、指定口座に期日までに振込んでください。

6 研修内容

別添カリキュラムのとおりとします。

研修は、講義・演習形式及び実習形式で行うものとし、「講義・演習」、「職場施設実習」、「各種レポート提出」の全てを修了しなければなりません。

- ◆ 講義・講習（職場実習の課題設定を含む） : 5日間（日程の中途にインターバル期間あり）
- ◆ 職場実習（アセスメントとケアの実践） : 4週間
- ◆ 職場実習評価 : 1日間

※ 職場実習について

職場実習は、研修で学んだ内容を生かして認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントをし、その内容をもとに認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケアの実践に関する計画やケアの実践を展開できることを目的としています。

そのため「職場実習の課題設定」および、4週間の「職場実習」では、受講者が現在関わりに困難さ等を感じている自施設・事業所での認知症の人の事例を取り上げ、アセスメントとケアの実践計画を作成して集中的に取り組んでいただきます。

また、その結果を「職場実習評価」で発表していただきます。

7 研修日程・会場等

◆【講義・演習】

日 時：前期研修 令和7年6月20日（金）、6月23日（月）～6月24日（火）
（インターバル期間 令和7年6月25日（水）～7月14日（月））
：後期研修 令和7年7月15日（火）～7月16日（水）
研修会場：おかやま西川原プラザ（岡山市中区西川原255番地）

◆【職場実習】

日 時：令和7年7月17日（木）～8月13日（水） 4週間
場 所：現在受講者が勤務している介護保険施設・事業所

◆【職場実習評価・修了式】

日 時：令和7年9月5日（金）
会 場：おかやま西川原プラザ（岡山市中区西川原255番地）

8 申込方法

岡山県老人保健施設協会HP (<https://roken-okayama.com/>) から、次に記載する申込書類をダウンロードして必要事項を記入のうえ、所属する事業所等の代表者を通じて、岡山県老人保健施設協会認知症介護実践研修事務局へ郵送にて提出してください。

なお、「申込書類」の記入内容等に不備がある場合は無効となることがあります。

〔申込書類〕

- ① 受講申込書（実 - 様式1）
- ② 実務経験証明書（実 - 様式2）
- ③ 返信用封筒（定型外角2サイズ）

※ 切手の貼付は不要です。

なお、返信用封筒は、決定通知の送付用又は受講できなかった場合の書類返送用として使用しますので、事業所の住所・事業所名・ご担当者様のお名前を必ず記載してください。

9 注意事項

- ・ この研修は、全課程（講義・演習、職場実習、実習報告書提出等）の修了が必須となります。なお、実習報告の内容によっては、再提出等を求める場合があります。
- ・ FAXでの申込みは無効とします。
- ・ 応募者多数の場合は選考により受講者を決定します。
- ・ 受講の可否については、申込み締切り後、文書にて通知します。
- ・ 選考の結果、受講できない場合は提出書類を返却します。
- ・ 決定した受講者の変更には応じられません。
- ・ 受講者決定後、受講を辞退される場合は、必ず研修事務局までFAX等により連絡してください。
- ・ 受講料は、原則として返金しません。ただし、《講義・演習》初日の前日までに辞退の申し出があった場合には、受講料の半額（やむを得ない事情の場合は全額）を銀行振込にて返金します。なお、振込手数料等は受講者負担とします。
- ・ 本研修を受講した者は、その者が従事する事業所等を所轄する市町村より問い合わせがあった場合、研修事務局が市町村へ通知することを承諾したものとみなします。
- ・ 事業所指定や変更の関係で、優先的に受講を希望する場合は、各市町村を通じて申し込んでください。

10 申込締切日

令和7年5月20日(火)(必着)

※ 受講の可否については、5月28日(水)頃文書にて通知する予定ですが、6月4日(水)を過ぎても届かない場合は、必ず研修事務局へ連絡してください。

11 個人情報保護の取扱いについて

申込時に提出いただいた個人情報は、本研修運営の目的のみに使用し、それ以外の目的で利用あるいは第三者に提供することはありません。

12 その他

研修期間の《宿泊》が必要な場合は各自にて手配してください。

13 申込先・問合わせ先

一般社団法人 岡山県老人保健施設協会

認知症介護実践研修事務局 担当：柳・大塚

〒710-0133 倉敷市藤戸町藤戸1580 老人保健施設 倉敷藤戸荘 内

TEL：086-420-2377 FAX：050-3588-1927

E-mail oky-jissenken@fukujyu.or.jp

一般社団法人 岡山県老人保健施設協会 令和7年度 認知症介護実践研修（実践リーダー研修）募集要項

1 目的

認知症介護実践研修（実践リーダー研修）（以下「実践リーダー研修」という。）は、事業所全体で認知症についての理解のもと、本人主体の介護を行い、生活の質の向上を図るとともに、行動・心理症状（BPSD）を予防できるチームケアを実施できる体制を構築するための知識・技術を修得すること及び地域の認知症施策の中で様々な役割を担うことができるようになることを目的とします。

この研修は、「認知症介護実践者等養成事業の実施について（平成18年3月31日付け老発第0331010号厚生労働省老健局長通知）に規定する認知症介護実践研修の実施主体として、岡山県知事から指定を受け実施します。

2 研修実施機関

一般社団法人岡山県老人保健施設協会（以下「岡山老健協」という。）

3 研修対象者

この研修は、現在岡山県内の介護保険施設・事業所等に従事する介護職員等であって、介護保険施設（介護保険法第8条第25項に規定する介護保険施設をいう。）、指定居宅サービス事業者（介護保険法第41条第1項に規定する指定居宅サービス事業者をいう。）、指定地域密着型サービス事業者、指定介護予防サービス事業者（介護保険法第53条第1項に規定する指定介護予防サービス事業者をいう。）又は指定地域密着型介護予防サービス事業者等（以下「介護保険施設・事業者等」という。）において介護業務に概ね5年以上従事した経験を有している者であり、かつ、ケアチームのリーダー又はリーダーになることが予定されている者であって、認知症介護実践者研修を修了し1年以上経過している者を対象とします。ただし、介護保険施設・事業所等においてサービスを利用者に直接提供する介護職員として、介護福祉士資格を取得した日から起算して10年以上、かつ、1,800日以上の実務経験を有する者あるいはそれと同等以上の能力を有する者であると実施主体の長が認めた者については、令和9年3月31日までの間は、本文の規定に関わらず研修対象者とします。

4 定員数 36名

5 受講料

岡山老健協（会員）30,000円 / （非会員）50,000円

※受講料は受講決定通知時の案内に従って、指定口座に期日までに振込んでください。

6 研修内容

別添カリキュラムの通りとします。

研修は、講義・演習形式及び実習形式で行うものとし、「講義・演習」、「自施設実習」「レポート提出」「実習報告」等の全てを修了しなければならない。

- ◆ 講義・演習（実習の課題設定を含む） : 5日間
- ◆ 自施設実習 : 4週間
- ◆ 自施設実習評価 : 1日間

7 研修日程・会場

◆【講義・演習】

日 時：令和7年10月 1日（水）～ 10月 2日（木）
令和7年10月 6日（月）～ 10月 7日（火）
令和7年10月10日（金）

計 5日間

会 場：おかやま西川原プラザ（岡山市中区西川原255番地）

◆【職場実習】

日 時：令和7年10月11日（土）～ 11月14日（金）

内 4週間

場 所：現在受講者が勤務している介護保険施設・事業所

◆【職場実習評価・修了式】

日 時：令和7年12月10日（水）

会 場：おかやま西川原プラザ（岡山市中区西川原255番地）

8 申込方法

岡山県老人保健施設協会HP (<https://roken-okayama.com/>) から、次に記載する申込書類をダウンロードして必要事項を記入のうえ、所属する事業所等の代表者を通じて、岡山県老人保健施設協会認知症介護実践研修事務局へ郵送にて提出してください。

なお、「申込書類」の記入内容等に不備がある場合は無効となる場合があります。

〔申込書類〕

- ① 受講申込書（リ - 様式1）
- ② 実務経験証明書（リ - 様式2）
- ③ 自事業所アセスメントシート（事業所用）（リ - 様式3-①）
- ④ 自事業所アセスメントシート（受講者用）（リ - 様式3-②）

※ 自事業所アセスメントシート（事業所用・受講者用）は受講者選定時の参考資料とする。

「受講者用」は受講希望者本人が、「事業所用」は事業所の管理者等、事業所としての見解を書ける人がそれぞれ記入してください。

- ⑤ 認知症介護実践研修（実践者研修）修了証書の写し
- ⑥ 返信用封筒（定型外角2サイズ）

※ 切手の貼付は不要です。

なお、返信用封筒は、決定通知の送付用又は受講できなかった場合の書類返送用として使用しますので、事業所の住所・事業所名・ご担当者様のお名前を必ず記載してください。

9 注意事項

- ・ この研修は、全課程（講義・演習、職場実習、実習レポート提出等）の修了が必須となっています。なお、実習レポート等の内容によっては、再提出等をもとめる場合があります。
- ・ FAXでの申込みは無効とします。
- ・ 応募者多数の場合は選考により受講者を決定します。
- ・ 受講の可否については、申し込み締め切り後、文書にて通知します。
- ・ 選考の結果、受講できない場合は提出書類を返却します。
- ・ 決定した受講者の変更には応じられません。
- ・ 受講決定後、受講を辞退される場合は、必ず研修事務局までFAX等により連絡してください。
- ・ 受講料は、原則として返金しません。ただし、《講義・演習》初日の前日までに辞退の申し出があった場合には、受講料の半額（やむを得ない事情の場合は全額）を銀行振込にて返金します。なお、振込手数料等は受講者負担とします。
- ・ 本研修を受講した者は、その者が勤務する事業所を所轄する市町村より問い合わせがあった場合、研修事務局が市町村へ通知することをご承諾いただいたものとみなします。

10 申込締切日

令和7年6月30日（月）必着

※ 受講の可否については、7月18日（金）頃文書にて通知する予定ですが、7月30日（水）を過ぎても届かない場合は、必ず研修事務局へ連絡してください。

11 個人情報保護の取扱いについて

申込時に提出いただいた個人情報は、本研修運営の目的のみに使用し、それ以外の目的で利用あるいは第三者に提供することはありません。

12 その他

締め切り後も定員に余裕がある場合、受講いただけることがありますのでお問合せ下さい。
研修期間の《宿泊》については、受講者各自にて手配してください。

13 申込先・問合わせ先

一般社団法人 岡山県老人保健施設協会

認知症介護実践研修事務局

担当：柳・大塚

〒710-0133 倉敷市藤戸町藤戸1580 老人保健施設 倉敷藤戸荘 内

TEL：086-420-2377 FAX：050-3588-1927

E-mail oky-jissenken@fukujyu.or.jp

地域における見守りネットワークの構築について

○消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）について

高齢者等の消費者被害防止や被害の早期発見のために、地域の福祉関係者、事業者、警察等が連携して、必要な情報交換、見守り活動等を行う組織（消費者安全法に規定）

○第4次岡山県消費生活基本計画（R3年度～R7年度）における目標値

『消費者安全確保地域協議会』を設置した市町村の数 R2年度 4市 → R7年度 10市町村

○県内の協議会設置状況 5市（R7.12月末現在）

地区	設置時期	設置形態
岡山市 (五城学区) (福渡学区) (御津南学区) (御津学区)	H28.9.16 R4.5.26 R5.6.20 R6.4.19	小学校区・地区単位で、各種地域団体が連携して安全で安心な地域づくりを推進する「安全・安心ネットワーク（高齢者福祉関係を含む）」の枠組みを生かして設立
浅口市 (全域)	H29.5.30	既設の高齢者虐待等防止協議会を消費者安全確保地域協議会に位置付ける形で設立
井原市 (全域)	R2.4.1	既設の高齢者権利擁護推進会議を消費者安全確保地域協議会に位置付ける形で設立
笠岡市 (全域)	R2.11.1	既設の地域ケア会議（介護保険関係）を消費者安全確保地域協議会に位置付ける形で設立
真庭市 (全域)	R5.4.1	成年後見制度の「権利擁護推進会議」と消費者安全確保地域協議会の機能を併せ持つ会議体を設立

※全国の協議会設置状況：567自治体（R7(2025)年12月末現在）

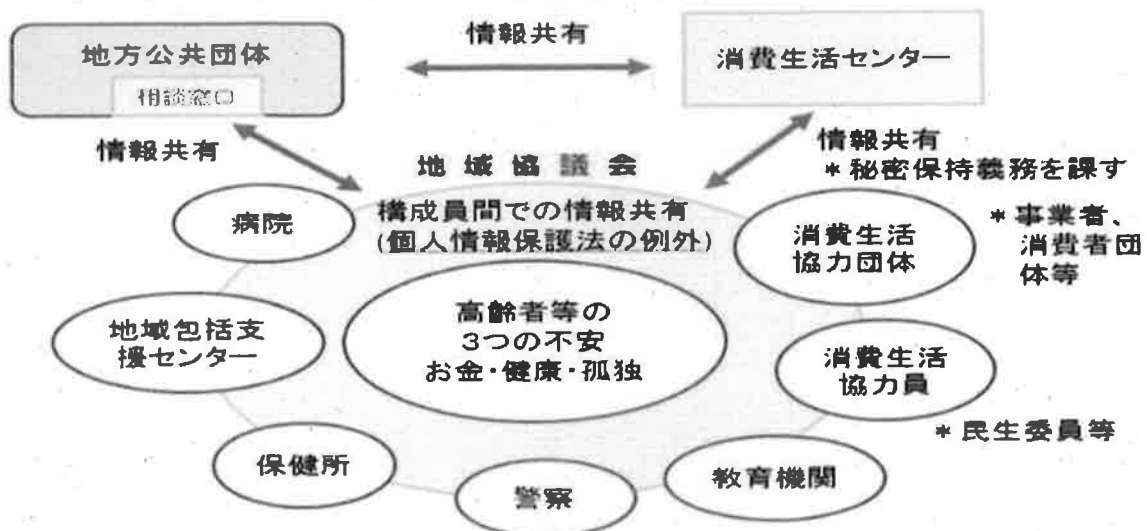
○協議会の概要

協議会の役割 … 構成員間での必要な情報交換、協議

構成員の役割 … 消費生活上特に配慮を要する消費者と適当な接触を保ち、その状況を見守り、必要な取組を実施

- 構成員の例
- ・地方公共団体の機関（消費生活センター等）
 - ・医療・福祉関係（病院、地域包括支援センター民生委員・児童委員等）
 - ・警察・司法関係（法テラス、弁護士、司法書士等）
 - ・教育関係（教育委員会等）
 - ・事業者関係（商店街、コンビニ、生協、農協、宅配事業者、金融機関等）
 - ・消費者団体、町内会等の地縁団体、ボランティア

「見守りネットワーク」における地域の連携イメージ



○協議会設置のメリット

- ・地域の関係機関の連携強化が図られ、地域の様々な問題解決がスムーズになる。
- ・見守り活動に必要な情報を協議会の構成員で効果的に共有することができる。
※個人情報を含め共有を図るための法的根拠ができる。(消費者安全法第11条の4)
- ・見守りのネットワークが安定的なものとなり、活動を効果的に継続しやすくなる。
- ・住民のつながりが強い地域としてアピールでき、悪質業者に対する抑止につながる。

○設置に向けた県のサポート

- ・研修会の開催や担当職員が地域に出向いてネットワークづくりをサポートする。
- ・地域の関係者の見守り力アップのための出前講座を開催する。

地域みんなで「見守り力」を高めていきましょう。

多発する悪質で巧妙な高齢者等への消費者被害を防ぐためには、地域の見守り活動が求められています。

日ごろ、高齢者等に接している地域の団体や福祉関係の団体の皆さん、みんなで地域の「見守り力」をアップするため、見守り活動のポイントなどを学びませんか。



高齢者の消費者トラブルを防ぐために

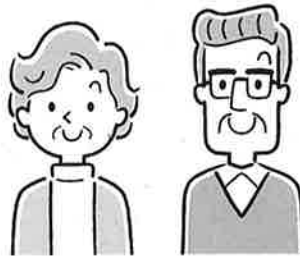
見守り力アップ講座

講座の内容

最新の消費者被害の情報



高齢者等への声掛けと気配り



見守る側の気づきと対処法



見守り活動のすすめ方など



● 申込 原則20人以上

民生委員・
児童委員さん

ケアマネジャー・
ヘルパーさん

地域活動を
されている方など

● 時間 2時間程度

※人数や時間は、ご相談に応じます。お申込みは裏面へ。

取講無料

見守り力アップ講座 応募方法

- 必要事項をご記入の上、原則として3週間前までに下記までご一報ください。(ファックスまたはE-mail)
- 折り返し、こちらから連絡させていただきます。



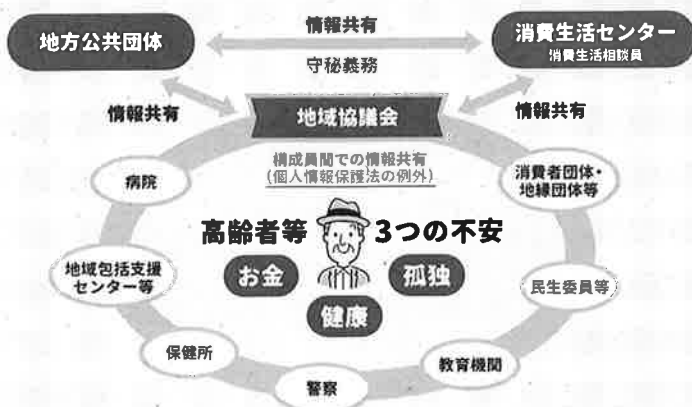
申込書

ご相談に応じますので、下記までお問い合わせください。

お申込日	20 年 月 日 ()		
開催日時 <small>時間は講座自体の開始から終了までの時間をご記入ください。</small>	第一希望	20 年 月 日 ()	第二希望
		: ~ :	20 年 月 日 ()
開催場所	会場名:	会場名:	
	住所:	住所:	
お申込団体		参加予定人数	名
ご連絡先	部署:	電話:	
	お名前:	E-mail:	

お寄せいただく個人情報は、この講座の目的以外へ使用することはありません。

見守りネットワークにおける地域の連携イメージ



- 受講後、ご希望の方に
見守り活動を支援するため、
「消費者ネットおかやま」から
情報を提供させていただきます。

応募・お問い合わせ・ご相談

受託団体 内閣総理大臣認定・適格消費者団体

特定非営利活動法人 消費者ネットおかやま

岡山市北区奉還町一丁目 7-7

TEL 086-230-1316 FAX 086-230-6880

E-mail npo-syohinet-okayama@sunny.ocn.ne.jp



<https://okayama-con.net>

見守り活動は、
こちらまで
どうぞ

